

平成 年 月 日

## まちづくりワクワク委員会報告書

まちづくりワクワク委員会  
委員長 山口 勝雄

寒川町まちづくり推進会議において調査・研究するために設置されたまちづくりワクワク委員会で調査・協議した事項について、以下報告するとともに、町が今後、この報告書にある提言内容に沿った取り組みを行うことを期待します。

### 1. まちづくりワクワク委員会の活動内容について

#### (1) 第3期まちづくり推進会議からの報告書に対する町の対応調査について

第3期まちづくり推進会議（以下、「推進会議」）からの報告書に対する町の対応状況について、進捗状況に応じて別添「第3期まちづくり推進会議からの報告書に対する町の対応状況等について」のとおり区分けし、整理を行いました。

対応状況を確認した中では、様々な団体がネットワークを深め活動できるネットワーク化においては、活動に対する町の支援策として平成26年度に「寒川町みんなの協働事業提案制度モデル事業」を創設し、平成27年度より事業選考を実施し、活動支援の具体化がされるほか、寒川町自治基本条例（以下、「条例」）の周知対応等、町では様々な取り組みが進められておりますが、一方で十分な取り組みがされていないものもございます。

第3期推進会議の各研究部会からの提案に対する対応についてですが、熟年パワー社会還元研究部会から提案されているシニアのキャリア活用については、協働PR委員会で調査、検討がされたため、協働PR委員会からの報告書をご確認いただきたいと思います。

また、女性の活躍の場研究部会から提案されている女性の参加・参画の促進については、具体的な取り組みがとられていない状況ですので、女性の参加・参画を促進するための意識啓発や環境作りについて取り組まれるようお願いいたします。

#### (2) 寒川町まちづくりに関するアンケート調査の実施について

まちづくりワクワク委員会（以下、「当委員会」）で前期推進会議からの提案

内容の具体化について検討した際、前述のように、女性の参加・参画の促進が課題としてあり、さらに議論を進める中で、昨今各方面において女性に限らず若い世代の参加・参画が少ない状況にあることから、若い世代全体のまちづくり活動への参加・参画の促進を広く課題と捉え、取り組みを行うことといたしました。

そこで、保護者の皆さまが条例や、協働のまちづくりへの参画、地域活動の参加などについてどのような思いや考えを持たれているのか、アンケートをさせていただくことにより、若い世代の参加・参画についての現状や課題を把握すると共に、若い世代の方がもっとまちづくり活動に関わっていただくための取り組みへ活かすことができると考えました。

また、アンケートを通して条例や協働のまちづくりに関して周知、意識啓発をすることにより、保護者の皆さまのまちづくり活動への参加・参画が促進され、さらに子どもたちが保護者と共にまちづくり活動に参加することで、将来の町を担う子ども達がまちづくり活動へ積極的に参加する機会に繋がると考え、実施いたしました。

調査方法は町内小学校及び、中学校の保護者の一部（各学年1クラスを抽出）の方を対象に1,249名の児童及び生徒へ配布（調査の重複した場合は、一方の回答で可とした。）し、561名の保護者の方から回答を頂くことが出来ました（回収率44.9%）。

アンケートの実施は、協働文化推進課と教育委員会及び各学校長と交渉を進め、アンケート全体にイラストや設問中の語句についてのポイント説明等を挿入し、見た目でも見やすいように工夫改善したほか配布方法などに時間を要したため、当初の予定より大幅に遅れましたが各学校を通じて配布実施となりました。

※アンケート用紙及び調査結果は別添をご参照ください。

アンケートの調査結果および調査結果に対する当委員会の意見等を別添資料にとりまとめましたので、ご確認いただき、今後の取り組みへ活かしていただきたいと思っております。

## 2. まとめ

少子高齢化が進んでいく中で、若い世代の皆さまのまちづくりへの参加・参画は必要不可欠であり、一人ひとりが地域の一員として自覚をし、地域活動の担い手となることにより、地域の活性化へと繋がると考えます。

今回、当委員会において検討した内容についてここに報告させて頂きましたが、アンケート結果を取り組みの参考とし、町におかれては若い世代の現状や課題を把握した上で、次の項目についての取り組みが特に必要とされると判断いたしましたので、積極的かつ具体的に進めて頂きたいと思っております。

### ①寒川町自治基本条例や協働のまちづくりにおける周知啓発の一層の推進

アンケート結果を見ると、「条例・パブリックコメント（町民意見の公募）・公募委員制度・協働」それぞれの認知度について、「知らない」と回答した方が多数を占めており、これまでも町では様々な周知等がされてはいますが、未だその効果が十分に見えない状況にあります。

現在、町の情報を「広報」により得ているという方が約50%を占めており、広報の運用方法も改善し、情報伝達の媒体として更に皆さまの目にとまるように努めていただきたいと思います。

ほかにも、条例や協働のまちづくりなどについて理解を深めていただくために、若い世代の皆さまの目線に沿い、興味を引けるような様々な機会や媒体を通じた周知をしていただき、認知度の向上へ取り組まれるようお願いいたします。

### ②若い世代が魅力を感じるまちづくり活動の促進

アンケート結果を見ると、これまで活動に参加されたことがある団体等は「自治会（町内会）、「子ども会」、「PTA」が全体のうち大多数を占めており、他の団体等への参加はごく少数に留まっています。現在、寒川町でも様々な団体が活動している中、会員の高齢化の課題があり、今後さらに進んでいくと思われます。このような状況下で、今後まちづくりの中心的な担い手となるであろう若い世代の皆さまの積極的な参加が期待されています。

アンケートの自由意見を見ると、まちづくりや町民活動に参加するために必要なこととして、「参加のしやすい活動」というご意見が多くありましたが、今まで活動へ参加されていなかった方の中には、実は“参加してみたい”と思っている方は多く居るのではないのでしょうか。

こういった若い世代の方々を活動へ取り込むために、今後、次のことについて町主体での取り組みが必要と考えます。

ア 共働き世代に配慮したイベント等の日時設定

イ 地域の中で新旧住民が気軽に参加できる、世代間交流や親子向けのイベントの実施

ウ インターネット等を通じた若い世代の方への身近な情報発信の工夫

こうした様々な“きっかけづくり”を行うことにより、活動に参加された方々の中で新たにサークルやボランティア団体等が自発的に生まれていき、若い世代の方々をいかに取り込むかによって、地域の活発化へと繋がり、寒川の未来も変わっていくことが期待されますので、若い世代が魅力を感じるまちづくり活動の促進について取り組まれるようお願いいたします。

### ③教育環境に関する施策の充実

これからのまちづくりのためには、若い世代の保護者である皆さまだけでは

なく、子ども達が将来、まちづくり活動へ積極的に参加するようになっていただくことも重要になります。そのためには、将来、寒川に住んでもらうことが必須となりますが、アンケート結果を見ると、子や孫が将来寒川に住むとして、町に特に力を入れて欲しい取り組みへの自由回答を見ると、「子どもの教育環境」についての意見が多くありました。現在、寒川の学力レベルは非常に低い状況にあり、子どもを育てていく保護者の皆さまにとって、今後寒川で暮らしていく上での大きな懸念となっています。

町で策定している寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略として目指すべき将来の方向性の一つとして「若い世代の子育て環境整備」を定めていることも踏まえ、今回のアンケート結果について町長以下全職員の方に見ていただき、時代の変化に気づき、町民のニーズを適切にとらえ課題についてスピード感を持って対応できるように職員の意識改革も必要と思います。

少子高齢化社会の今、高齢者支援も重要となりますが、子どもに向けた支援の充実や学力向上への一層の取り組みを行うようお願いいたします。

以上、取り組みが特に必要とされる3つの項目について報告させていただきましたが、コミュニティーセンター機能の設置については、活動の場の広がりだけではなく、活動団体等のネットワーク化にも繋がるものであり、第3期推進会議からの提言の一つとなっている活動団体のネットワーク化も提言から4年過ぎましたが依然として検討段階にありますので、具現化に向け、着実に取り組みを進めていただくよう要望いたします。

最後に、これ以上の対応の遅れは寒川町の魅力低下となり、近隣市町村への生活拠点流出となりかねないという危機意識を持って取り組んでいただきたい。

以上

まちづくりワクワク委員会 検討経過

開催日・開催場所	議題・会議概要等
第1回 まちづくりワクワク委員会 平成26年12月18日(木) 町役場2階災害対策本部室(大)	○今後の検討事項について
第2回 まちづくりワクワク委員会 平成27年1月15日(木) 町役場東分庁舎2階第2会議室	○アンケート内容及び今後のスケジュールについて
第1回 委員長打ち合わせ 平成27年2月18日(水) 町役場3階議会第2会議室	○アンケートについての実施方法について
第3回 まちづくりワクワク委員会 平成27年3月4日(水) 町役場分庁舎2階教育委員会会議室	○アンケート内容及び実施方法、今後のスケジュールについて
第4回 まちづくりワクワク委員会 平成27年4月14日(火) 町役場3階議会第1会議室	○アンケート内容及び実施方法について
第1回 両委員会正副委員長打ち合わせ 平成27年7月9日(木) 町役場2階小会議室	○アンケートの実施方法について ○熟年パワーの取り組みについて
第5回 まちづくりワクワク委員会 平成27年7月16日(木) 町役場東分庁舎2階第2会議室	○アンケート内容及び実施に対する課題を踏まえた実施方法について
第6回 まちづくりワクワク委員会 平成27年8月4日(火) 町役場分庁舎1階電算会議室	○アンケートの実施方法について ○熟年パワー活用の検討について ※協働PR委員会正副委員長出席
第7回 まちづくりワクワク委員会 平成27年11月9日(月) 町役場分庁舎1階電算会議室	○第3期まちづくり推進会議報告書への町の対応状況の検証について
第8回 まちづくりワクワク委員会 平成28年2月5日(金) 町役場3階議会第2会議室	○アンケート内容及び実施に対する課題について
第9回 まちづくりワクワク委員会 平成28年2月15日(月) 町役場3階議会第2会議室	○アンケート内容について
第10回 まちづくりワクワク委員会 平成28年5月11日(水) 町役場分庁舎1階電算会議室	○アンケートの調査結果及び報告書作成に向けた協議
第11回 まちづくりワクワク委員会 平成28年5月30日(月) 町役場分庁舎1階電算会議室	○報告書作成に向けた協議

## まちづくりワクワク委員会委員等名簿

平成28年6月末現在

	委員	選出区分等	備考
1	山口 勝雄	寒川町工業協会	委員長
2	平本 正子	寒川町婦人会	副委員長
3	藤井 明男	寒川町農業委員会	
4	若林 正雄	寒川町自治会長 連絡協議会の推薦者	
5	谷村 秀次	湘南地域連合	
6	田邊 由美	寒川町PTA 連絡協議会	
7	森井 順子	寒川町民生委員 児童委員協議会	
8	大川 壽一	町民（一般公募）	寒川町まちづくり推進 会議会長 ※両委員会へ随時参加
9	清田 昭夫	寒川町商店連合会	寒川町まちづくり推進 会議副会長 ※両委員会へ随時参加
10	芹澤 るみ子	寒川町町民部 協働文化推進課長	事務局
11	宮崎 和代	寒川町町民部 協働文化推進課 協働担当	事務局
12	内藤 安希子	寒川町町民部 協働文化推進課 協働担当	事務局

# 第3期寒川町まちづくり推進会議からの報告書に対する町の対応状況等について

別添

・次のとおり対応状況等の整理を行いました。中には十分な取り組みがされていないものもありますので、具現化に向け継続した対応をしていただくようお願いいたします。

	活動内容	提言内容(要約)	町の考え方・対応(平成26年11月13日)	対応進捗状況(平成26年度～27年度)
平成24年度～26年度 第3期	寒川町のまちづくりに向けた結果アンケート(町民活動団体)	①様々な団体がネットワークを深めて活動していける仕組みづくり ②活動に対する町の支援策 ③活動拠点による支援の充実	<p>《団体のネットワーク化》</p> <p>① 団体の連携に向けた声掛けは、寒川町ボランティア団体等登録制度の登録団体のネットワーク化などを取り組んでいく(平成26年度から取組検討)</p> <p>② 活動に対する支援策として、協働事業提案制度の検討を進める(平成26年度に協働事業提案制度を創設し、平成27年度から事業実施していく)。また、民間ならではの創意工夫のある子育て支援事業を実施する団体への補助事業を検討しています。</p> <p>③ 活動拠点による支援については、各公民館のコミュニティセンター機能の設置に向けて検討を進めます。</p>	<p>平成25年8月～9月にアンケート実施(211団体へ依頼回答127団体)⇒アンケート結果集計し、平成26年6月にまちづくり推進会議より町へ報告。</p> <p>① 平成27年3月に団体の連携・協力やネットワーク化のきっかけとして、寒川町ボランティア団体等登録制度の登録団体を対象に情報交換会を開催した。(9団体出席)</p> <p>② 寒川町みんなの協働提案制度モデル事業を開始し、27年度募集に対し7事業応募、審査の結果4事業決定。28年度募集に対しては5事業応募、審査の結果5事業決定。また、寒川町地域子育て環境づくり支援事業補助を開始した。</p> <p>③ 公共施設総合管理計画を平成28年度策定予定としており、公共施設の統廃合や、多目的利用、大規模修繕計画などの方向性を踏まえ、各公民館のコミュニティセンター機能の設置について検討を進めます。</p>
		②アンケート結果の周知及び職員への意識づけ	<p>《対応の基本方向》</p> <p>① まちづくりアンケート結果については、第3期推進会議報告書の一部として、役場内の部長会議で報告した。</p> <p>② 全職員向けに庁内システムで報告書の周知を行った。</p> <p>③ 提出結果については、各課等において有用な情報や課題があると考え、職員一人一人が報告書を熟読し、各課等の協働取組検討時参考にする、課内会議や各課事業検討時報告書を活用するよう周知を行った。</p>	<p>① まちづくりアンケート結果については、第3期推進会議報告書の一部として、役場内の部長会議で報告した。</p> <p>② 全職員向けに庁内システムで報告書の周知を行った。</p> <p>③ 提出結果については、各課等において有用な情報や課題があると考え、職員一人一人が報告書を熟読し、各課等の協働取組検討時参考にする、課内会議や各課事業検討時報告書を活用するよう周知を行った。</p>
		③自治基本条例の周知度について	より一層、自治基本条例の制定趣旨と理念が町民の間で共有されるような方策が必要。	<p>《自治基本条例の周知度対応について》</p> <p>① 啓発用マグネットシートを作成し公用車に貼付</p> <p>② 啓発用の懸垂幕を作成</p> <p>③ 広報に自治基本条例講座としてコラムを掲載し周知度向上を目指す</p>
	④各研究部会 ④-1(熟年パワー社会還元)	シニアのキャリアを生かした各種活動の場が町全体に亘って実行できる具体的な取組方法と共に、展開できるシステムとルールなどの提言に対し早期に構想の実現を	<p>① 役場内部の組織設置や人員体制も述べられているが、現段階では課を新設して職員の配置をする予定はなし</p> <p>② シニアのキャリアを活かした各種活動の場については、シルバー人材センターでの人材登録・活用、生涯学習人材登録制度など、既存の組織・システムもあり、生涯 人材登録制度の新たな登録項目による充実や利用に向けたPRなどを進めていく。</p> <p>③ 町施策の方向性の中に、この構想をどのように取り入れていくことができるか、今後検討していく。</p>	<p>① 課を新設する予定はありません。</p> <p>② 寒川町生涯学習人材登録制度パンフ作成 ※平成26年7月発行(60講座、36名の登録紹介)、平成27年6月発行(56講座、34名の登録紹介) ※パンフ配布先:南部・北部文化福祉会館、町民センター、町民センター分室、図書館</p> <p>③ 町では、高齢者の社会参加や社会貢献を行う場、また会員相互の親睦や地域での生きがいと健康づくりの推進のために、町シルバー人材センター、町老人クラブを支援しています。町として、新たなシステムを作るよりも上記のような、既にある仕組みを活用していくことで、既存の組織の活性化にもなると考えます。このことから提言にある場については、この老人クラブの活動を活用することも一つであることから、老人クラブに、提言内容を伝えていくようになります。またシルバー人材センターに対しては就労の場の拡大が進むように支えていきます。</p> <p>町高齢者保健福祉計画の中には、「高齢者の社会参加の促進」を基本目標として位置づけし、行政の施策としてシルバー人材センターの機能充実・支援をすることや、社会参加・交流の促進を行っていくとの記載をしてあります。</p>
	④-2(女性の活躍の場研究部会)	<p>1)「女性の参画を進める環境づくり」</p> <p>① 審議会等の規則・内規の見直し</p> <p>② 女性委員登用促進の指針作成</p> <p>③ 女性活動団体の連携</p> <p>2)「女性の参加を進めるための意識啓発」</p> <p>女性委員やリーダー育成のための講座の開催</p> <p>上記提言を踏まえ実現に向けた検討・体制づくり</p>	<p>1)「女性の参画を進める環境づくり」</p> <p>① 審議会等の規則・内規の見直しについては、他の自治体の状況などを今年度中に調査し、女性の参画を進める方策を来年度検討してまいります。</p> <p>② 女性委員登用促進については、町審議会等における女性委員の登用の促進について各課等へ周知する。</p> <p>③ 女性活動団体との連携については、女性活動団体が連携した自主的なまちづくりの参画に対し、可能な協力・支援をしてまいります。</p> <p>2)「女性の参加を進めるための意識啓発」として、女性委員やリーダー育成のための講座を開催については、今後の女性活動団体の連携の動きなども踏まえ、可能な協力や支援をしていきたい。</p>	<p>① 女性の参画を進める方策については、各種団体の男女構成の関係もあり、一律に女性を必ず入れるという規則の見直しには至っておりません。</p> <p>② 団体等に女性の登録について理解協力を頂くよう周知しており、その結果、女性委員に参加していただいている審議会等も多岐にわたりますがございます。</p> <p>③ 女性活動団体が連携した自主的なまちづくりの参画についての動きがあれば、可能な協力や支援を行います。</p> <p>2) 女性活動団体の連携の動きがあれば、可能な協力や支援を行います。</p>
	④-3(住民投票条例勉強会)	<p>① 現時点で寒川町内に「まちづくりに関する重要事項」が存在しない場合でも、住民投票を条例で定める際の様々な論点について検討し、その成果を町民と共有する、</p> <p>② 住民投票の対象となる事項や論点について町民と事前に検討し、町民間で討議を行えるような熟議のプロセスなど、新たな住民投票のあり方についても庁内・議会内で検討を行っていくことが重要と考える。</p>	<p>検討を進める必要があると考えるため、庁内検討委員会を設置いたします。</p>	<p>これまで、自治基本条例および協働の周知啓発を進めてきたところであるが、住民投票条例に関する取り組み方向について先進自治体等においても、制定、非制定の事例もあるため、事例等の情報収集を行う必要があると考えております。</p>

	<p>④-4(町民参加研究部会)</p>	<p>〈主な指摘事項〉          1) 協働事業について          ① 今後新しい協働事業の創設、評価改善サイクルの実施、予算措置による協働事業の協議・検討・実施          ② 町の補助金制度による、団体からの町に対する協働事業提案制度の早期導入</p> <p>2) パブリックコメントについて          ① パブコメに幅広く意見が提出されるよう、内容に応じた働きかけなどの工夫          ② パブコメを広報する際「パブリックコメント(町民意見の公募)」として表示          ③ パブコメの自治会の回覧の活用による周知</p> <p>3) 審議会と公募委員について          ① 審議会の委員経験者へのアンケートを実施し、現状把握と課題抽出、審議会における税金と時間の有効利用          ② 審議会の会議前の資料送付の際に、議題の論点の明示による会議の活性化          ③ 推薦委員等への事前説明や何を期待して委員をお願いするかの明確化          ④ 審議会の兼任の制限          ⑤ 公募委員を男女1人ずつの2人とし男女共同参画の積極的な措置          ⑥ より多くの公募員が参加できるよう公募委員の人数の下限の見直し          ⑦ 設置も目的が同様の他自治体の審議会等で、公募委員を登用している場合は町で登用          ⑧ 公募の選考にもれた町民への選考上の判断の通知</p> <p>4) 町民活動団体及び職員から寄せられた意見          ① 自治会からの課題と回答の広報への掲載          ② 町民活動団体の広報による支援          ③ 先駆的で他のモデルとなり得る協働事業の支援          ④ 協働を前提に成立している町の計画の改定時における町民の関心喚起と十分な参加機会の設定          ⑤ 職員の人材育成の取り組み          ⑥ 協働を展開しやすくなるよう庁内の雰囲気づくり、庁内体制などの環境整備          ⑦ 所管事業の協働の視点の見直し          ⑧ 協働の手引書作成          ⑨ まちづくりの課題など一層の情報提供</p>	<p>1) ①・②協働事業提案制度を検討、導入することにより、町民活動団体等による協働の取り組みを促してまいります。</p> <p>2) パブリックコメントについて          ① 議会にはパブコメの実施を知らせ、審議は実施による町民の声やその対応結果もそろえて実施          ② 今後そのように表示していく          ③ 平成26年中に実施してまいります</p> <p>3) 審議会と公募委員について          ① アンケートの実施について検討してまいります          ② 各課等へ適切に実施するように周知してまいります          ③ 各課等へ適切に実施するように周知してまいります          ④ 推薦団体の都合や、充て職で依頼する委員もおられますので、制限は難しい          ⑤ 公募委員への応募が100%でない実態や、逆に性別による数で応募を制限することが、どちらかの性別の方の応募の妨げになることも予測されることを踏まえ慎重に検討していく          ⑥ 現状、公募委員の募集枠に対する応募が100%出ない実績なども踏まえ検討してまいります、          ⑦ 各所管課等に調査・確認・対応するように依頼してまいります          ⑧ 判断の通知を行う考えございません。但し、応募頂いたことに対するお礼及び今後とも町政へのご協力をお願い致しますという事は適切にお伝えするよう周知してまいります。</p> <p>4) 町民活動団体及び職員から寄せられた意見について          ① 地域担当職員の会議等で協議してまいります          ② 寒川町町民ボランティア団体等登録制度の登録団体の周知を継続してまいります          ③ 協働事業提案制度を検討、導入することにより、町民活動団体等による協働の取り組みを促してまいります          ④ パブリックコメントや説明会などを適切に行い、計画改定時における関心喚起と十分な参加機会の設定          ⑤ 自治基本条例や協働に関する研修などを検討してまいります          ⑥ 協働提案制度などの制度導入にあわせ、庁内の雰囲気づくりや環境整備に努めてまいります          ⑦ 協働提案制度などの制度導入にあわせ、所管事業について、協働の視点での見直しにつとめてまいります          ⑧ 第4期寒川町まちづくり推進会議の皆様と検討してまいります          ⑨ 今後も積極的に情報の提供に努めてまいります</p>	<p>①・②寒川町みんなの協働事業提案モデル事業実施要綱を制定(平成26年度)し、平成27年4月1日より事業開始し、募集に対し7事業応募があり、審査の結果4事業を決定いたしました。          &lt;平成27年度決定事業・実施団体&gt;          ○青色回転灯装着車両による防犯安全パトロール事業【小谷地域安心安全パトロール隊】          ○町の樹木再生による水と緑の自然溢れる寒川創生【住みよいまち・さむかわにする会】          ○小出川右岸の環境美化・彼岸花植栽活動【おおう彼岸花の会】          ○目久尻川花いっぱい運動【さむかわ川・花協議会】          &lt;平成28年度決定事業・実施団体&gt;          ○川とのふれあい公園花壇等の整備および維持管理【川とのふれあい公園花壇の会】          ○子ども未来塾～生活困窮家庭の子どもへの「学習支援事業」～【住みよい町・さむかわにする会】          ○捕獲して、不妊去勢手術をして、元の場所に戻す活動(TNR活動)及び子猫の保護と里親制度の活用【寒川ネコの会】          ○町の樹木再生による水と緑の自然溢れるさむかわ創生活動【住みよい町・さむかわにする会】          ○青色回転灯装着車両による防犯安全パトロール事業【小谷地域防犯安全パトロール隊】          また、寒川町協働事業選考委員会設置要領の見直しを行い(H28年1月26日施行改訂)、協働事業選考委員を町部長級職員のみから、町部長級職員及びまちづくり推進会議推・ボランティア連絡協議会・社会福祉協議会からの各推薦者・公募の町民へ変更して透明性を高めた。</p> <p>2) パブリックコメントについて          ① ご意見のとおり運用としています。          ② ご意見のとおり運用としています。          ③ 今年度から回覧を依頼してまいります。</p> <p>3) 審議会と公募委員について          ① 公募委員経験者及び現役公募委員にアンケートを実施し、公募委員経験者の現状把握を行うと共に、連続した2期でも公募委員に応募できること、退任後5年で同一審議会に再応募できる期間を5年から2年としたことの周知を行った。          ② 平成26年10月に各課等へ事務対応の依頼を行いました。          ③ 平成26年10月に各課等へ事務対応の依頼を行いました。          ④ 制限は難しいと考えております。          ⑤ 女性の登用促進に向けて検討を進めてまいります。          ⑥ 現状、募集人員に対して100%の応募状況ではないため、下限の見直しを行う予定はありません。          ⑦ 平成26年10月に各課等へ事務対応の依頼を行いました。          ⑧ 選考に漏れた方への選考上の判断の通知については行っておりません。</p> <p>4) 町民活動団体及び職員から寄せられた意見について          ① 自治会からの課題については自治会から直接の場合もあれば、地域担当職員が定例会に伺った際に頂くものもありますが、行政情報をお伝えさせて頂く広報の目的及び紙面数の関係もありますので、掲載予定はございません。          ② 寒川町町民ボランティア団体等登録制度の登録団体の周知を継続しております。(平成27年9月現在15団体等)          ③ 平成27年4月1日より寒川町みんなの協働事業提案モデル事業を開始し、募集に対し7事業の応募があり、審査の結果4事業を決定いたしました。          ④ パブリックコメントについては、自治会の回覧による周知啓発に努め、意見提出を促してまいります。          ⑤ 28年2月を目的に研修実施を検討してまいります。          ⑥ みんなの協働提案事業モデル事業の導入に伴い、事業協力課においては協働事業への対応を進めております。また、平成28年3月23日に「協働に関する研修」を実施し、職員だけでなく町民の方々にもご参加いただきました。(まちづくり推進会議委員、寒川町ボランティア 団体等登録制度の登録団体、ボランティア連絡協議会へ周知。)          ⑦ 各事業については所管課において、平成28年度予算要求に向け、協働の手法を含め、必要に応じた見直し等に努めてまいります。          ⑧ 協働PRチラシを推進会議において作成、町で印刷を行い全戸配布を行った。(全戸配布数:19624枚)          ⑨ 各種情報提供については、広報、ホームページ等で実施しております。</p>
--	----------------------	--	--	--

別添

～夢・希望あふれる「寒川町」まちづくりを目指して～  
寒川町まちづくりに関するアンケート調査結果



寒川町まちづくり推進会議  
(まちづくりワクワク委員会)

平成28年6月

## ■ アンケート調査結果の概要 ■

### ■ 調査対象者および抽出方法

町内小学校及び、中学校の保護者の一部（各学年1クラスを抽出）の方を対象  
1249名の児童及び生徒へ配布。（調査が重複した場合は、一方の回答で可とした。）

### ■ 調査方法

各学校へアンケートを直接配布し、郵送による回収

### ■ 調査期間

平成28年2月24日（水）～3月2日（水）  
※旭小学校は、平成28年2月29日（月）～3月5日（金）

### ■ 回答結果

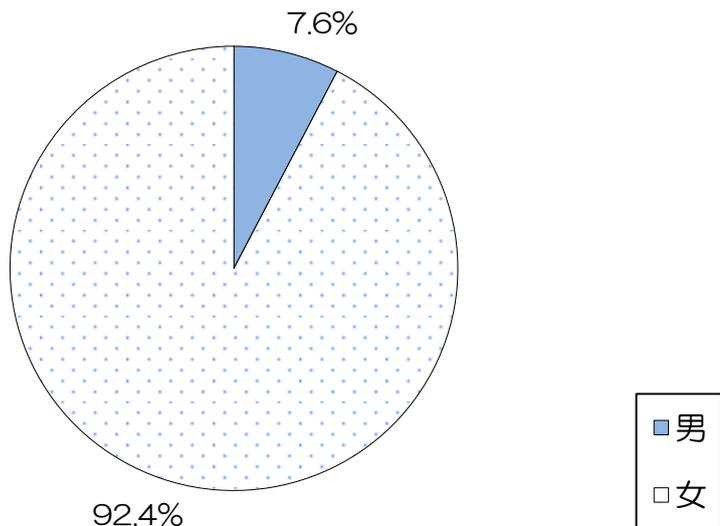
配布数：1249  
回収数： 561  
回収率：44.9%

### ■ 調査結果の見方

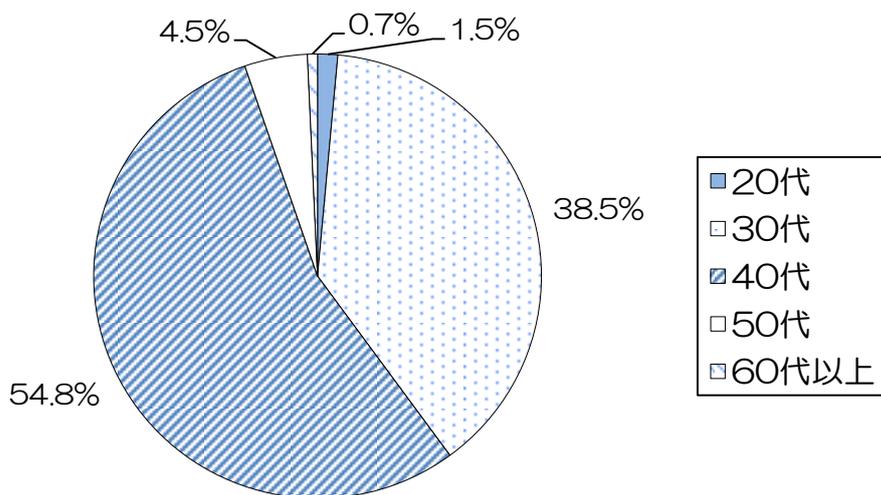
- (1) 無回答は表示していないため、足し合わせても全体と一致しない場合があります。
- (2) 【年齢別】について、各設問と年齢のクロス集計をしており、年齢を無回答とした方の回答は表示していないため、全体と一致しません。
- (3) 図表中の「n」は回答数を示しています。
- (4) 単数回答の設問で、複数回答をされた場合、回答のうち、若い番号で集計をしています。  
また、問10について回答欄に記入されていない場合、判断がつかないため「無回答」としています。

問1 回答者ご自身についてお答えください。

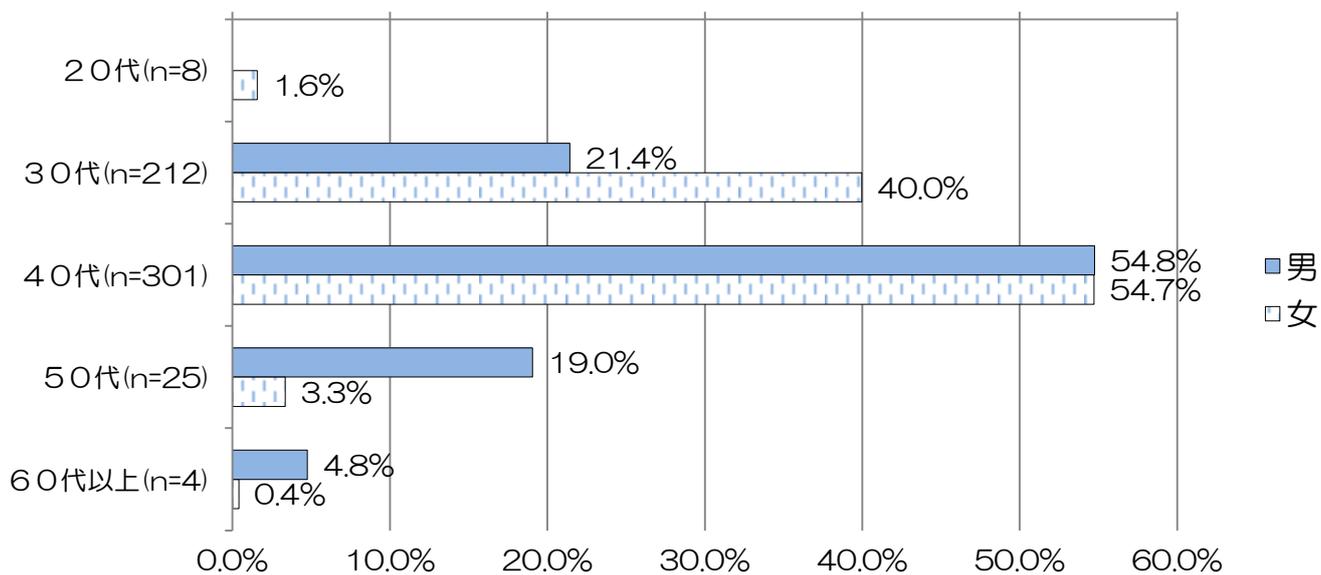
■性別 (n=550)



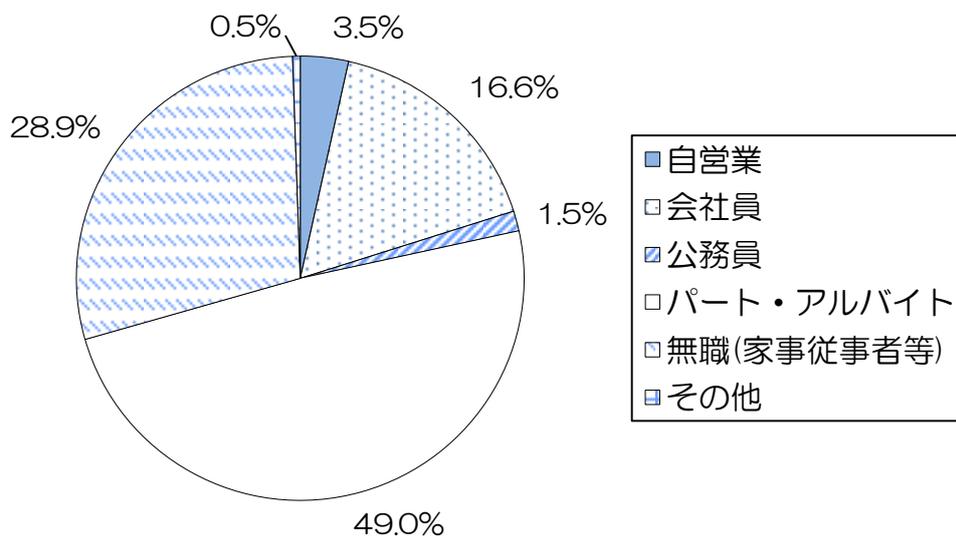
■年齢 (n=551)



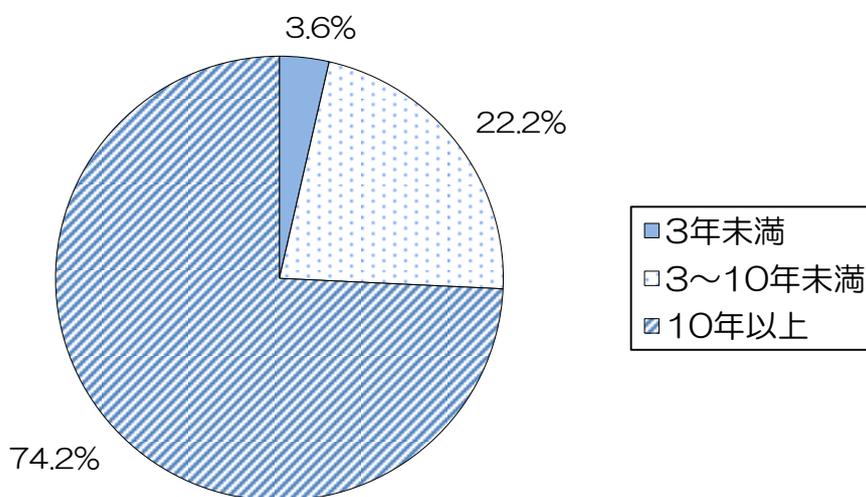
■性別・年齢



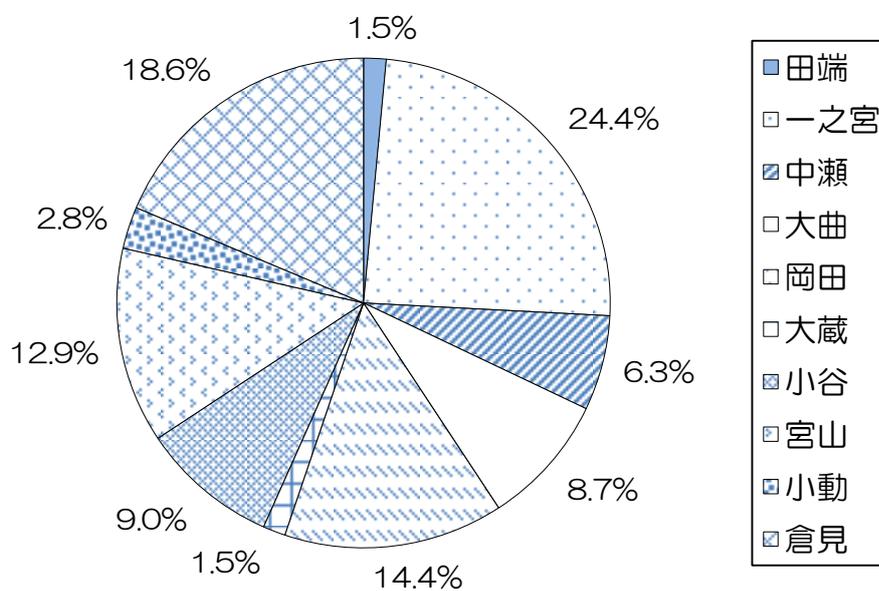
■職業 (n=547)



■居住年数 (n=532)

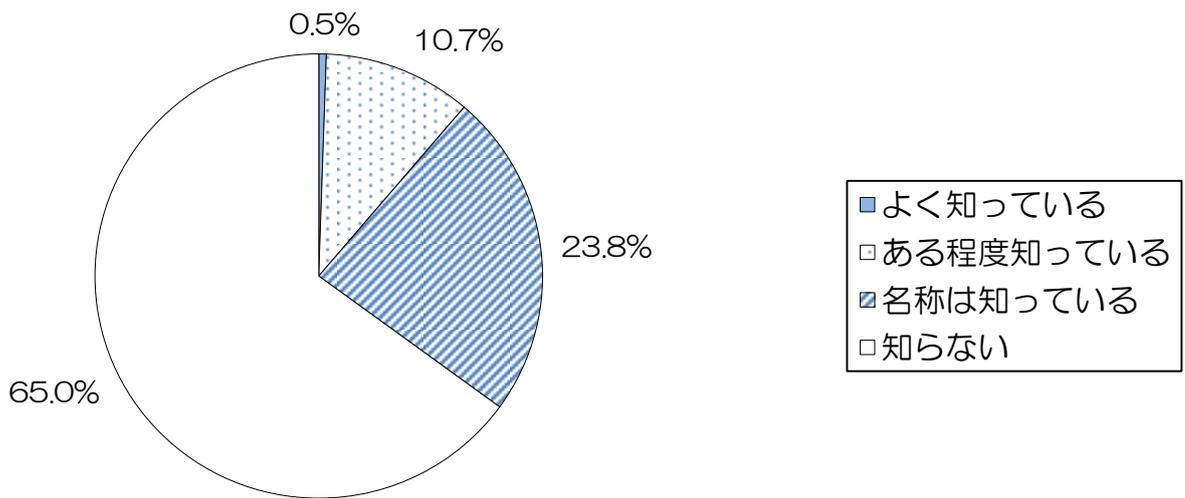


■お住まいの地域 (n=542)

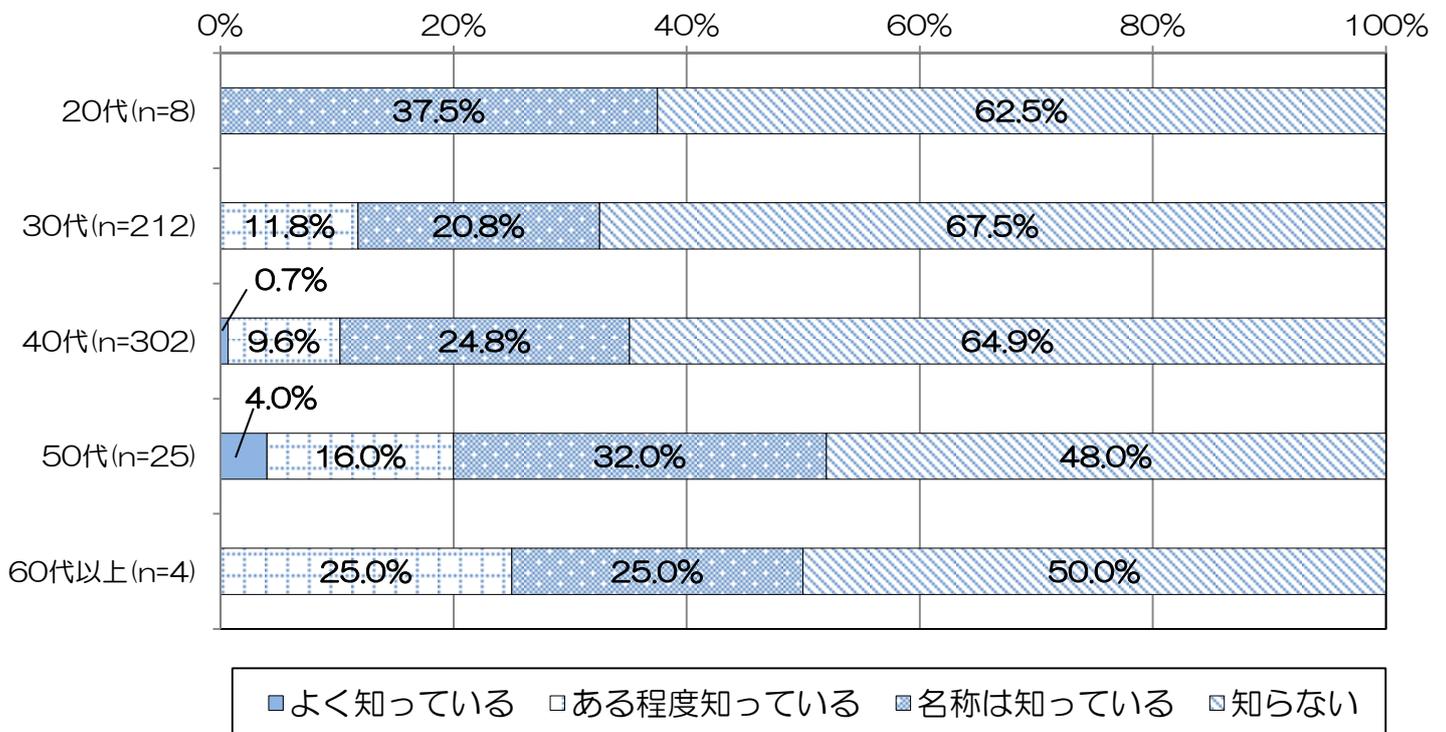


問2 寒川町に自治基本条例が定められていることを知っていますか。(1つだけ〇)

【全体】(n=551)



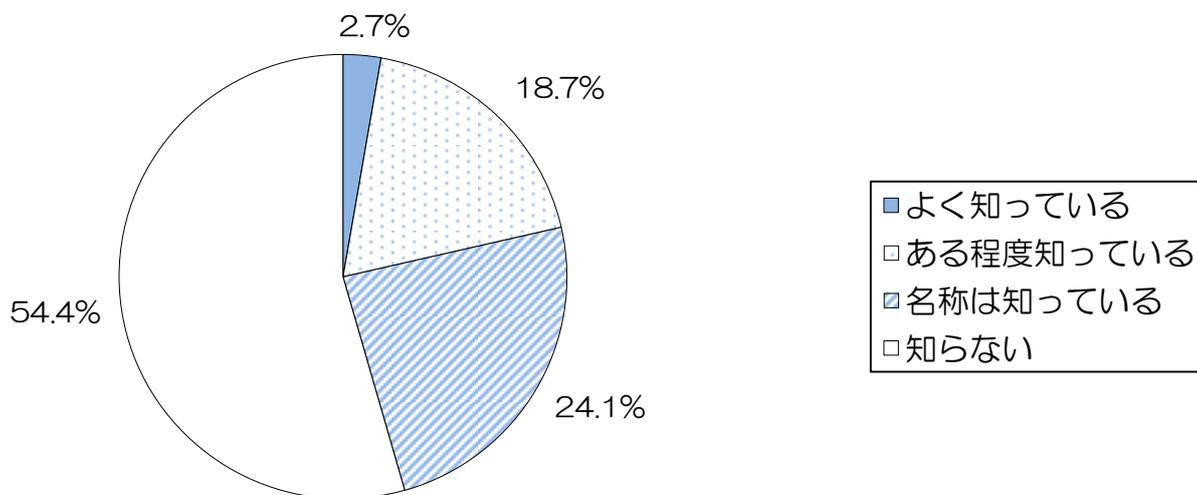
【年齢別】



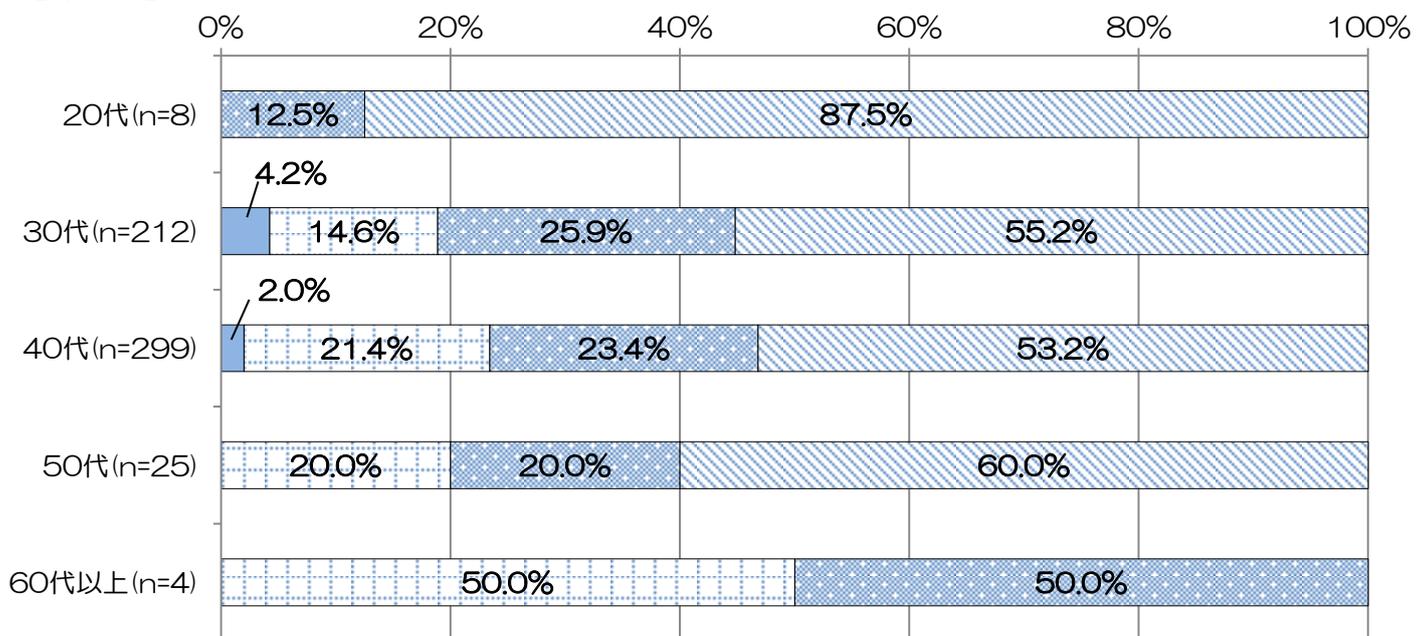
どの年代でも自治基本条例が定められていることを知らないという回答が最多を占めました。また、若い世代の方が知らないという回答が多い傾向にあります。

問3 町では計画策定時や条例制定時などに、町民の皆さんが参画する機会として、町民の皆さんの意見をより広く募集し、意見反映の機会を設けるために、パブリックコメント（町民意見の公募）を行っています。知っていますか。（1つだけ〇）

【全体】（n=551）



【年齢別】

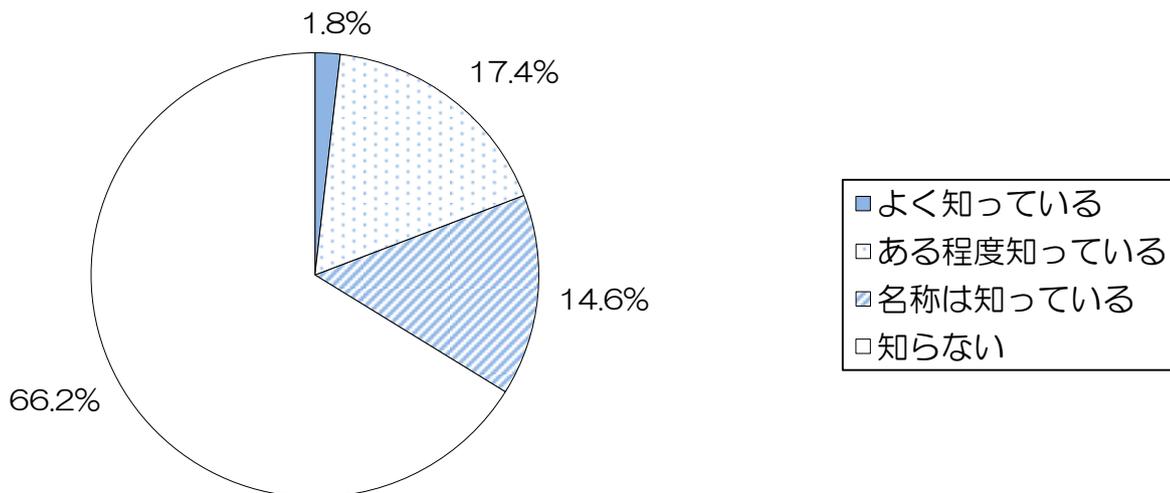


■よく知っている □ある程度知っている ■名称は知っている □知らない

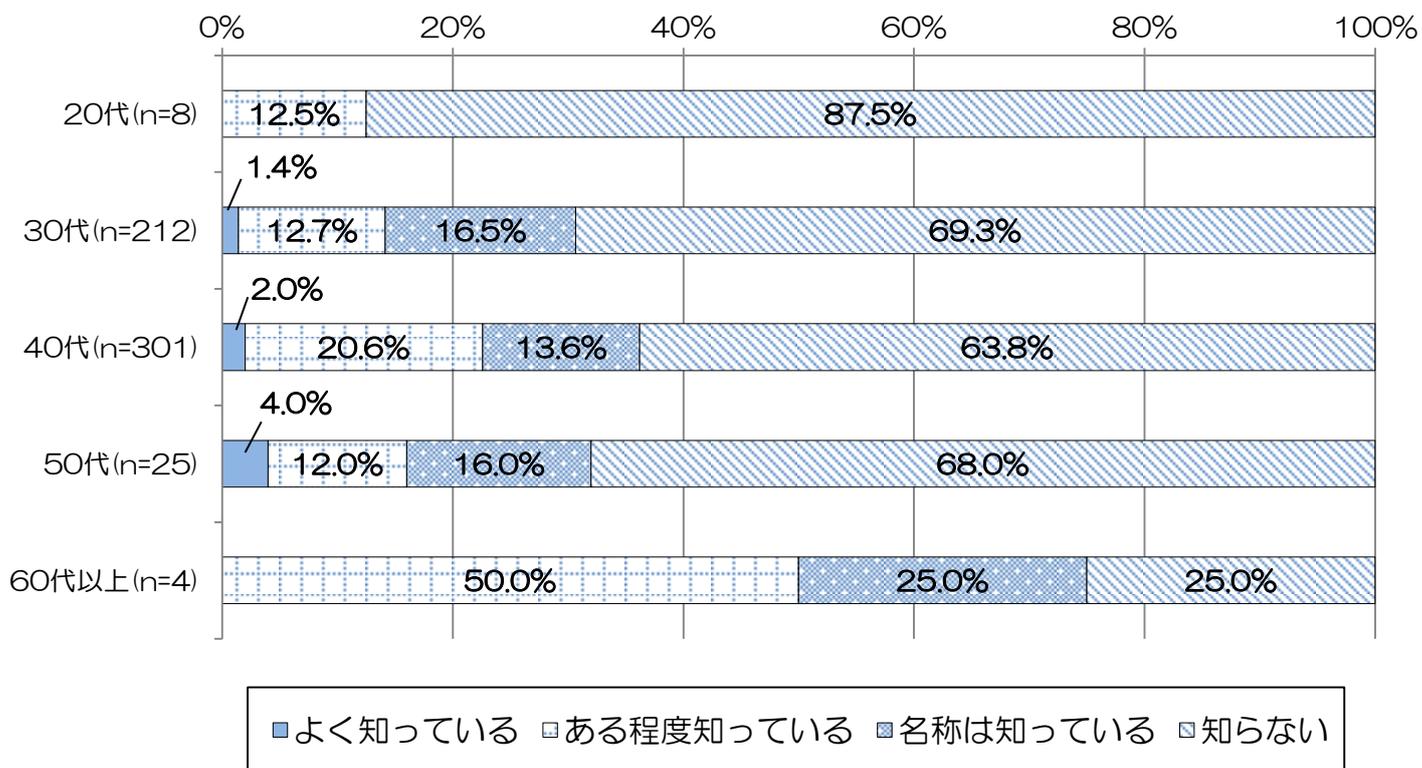
「知らない」という回答が過半数を占めています。年齢別では、20代～50代で「知らない」という回答が最多を占めた一方、60代以上では「知らない」という回答はなく、「ある程度知っている」、「名前は知っている」という回答が半数ずつとなりました。

問4 町では審議会等（町に関することの検討などを行う様々な会議）へ町民の皆さんに参画していただくため、公募委員を募集していますが、このような制度を知っていますか。（1つだけ〇）

【全体】（n=553）



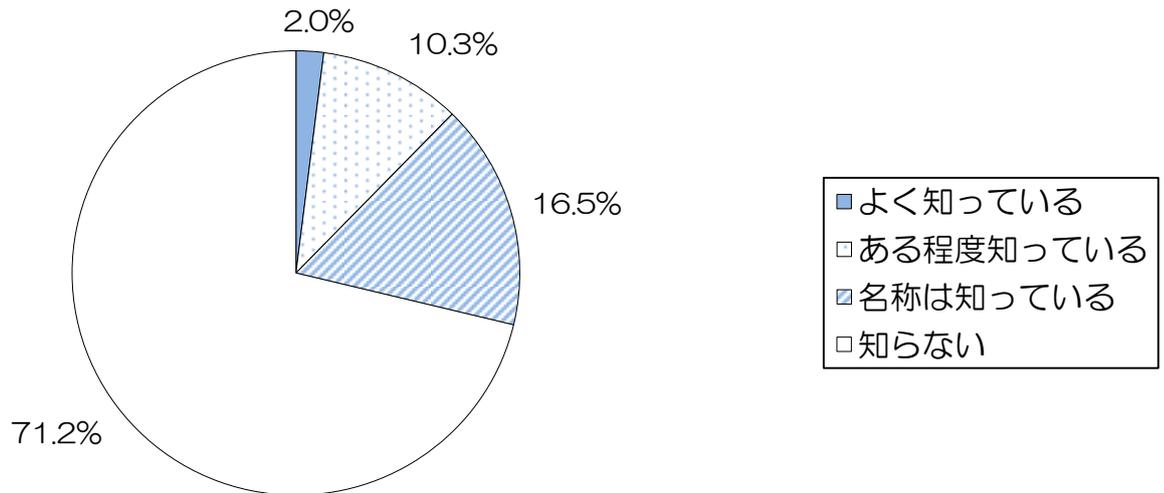
【年齢別】



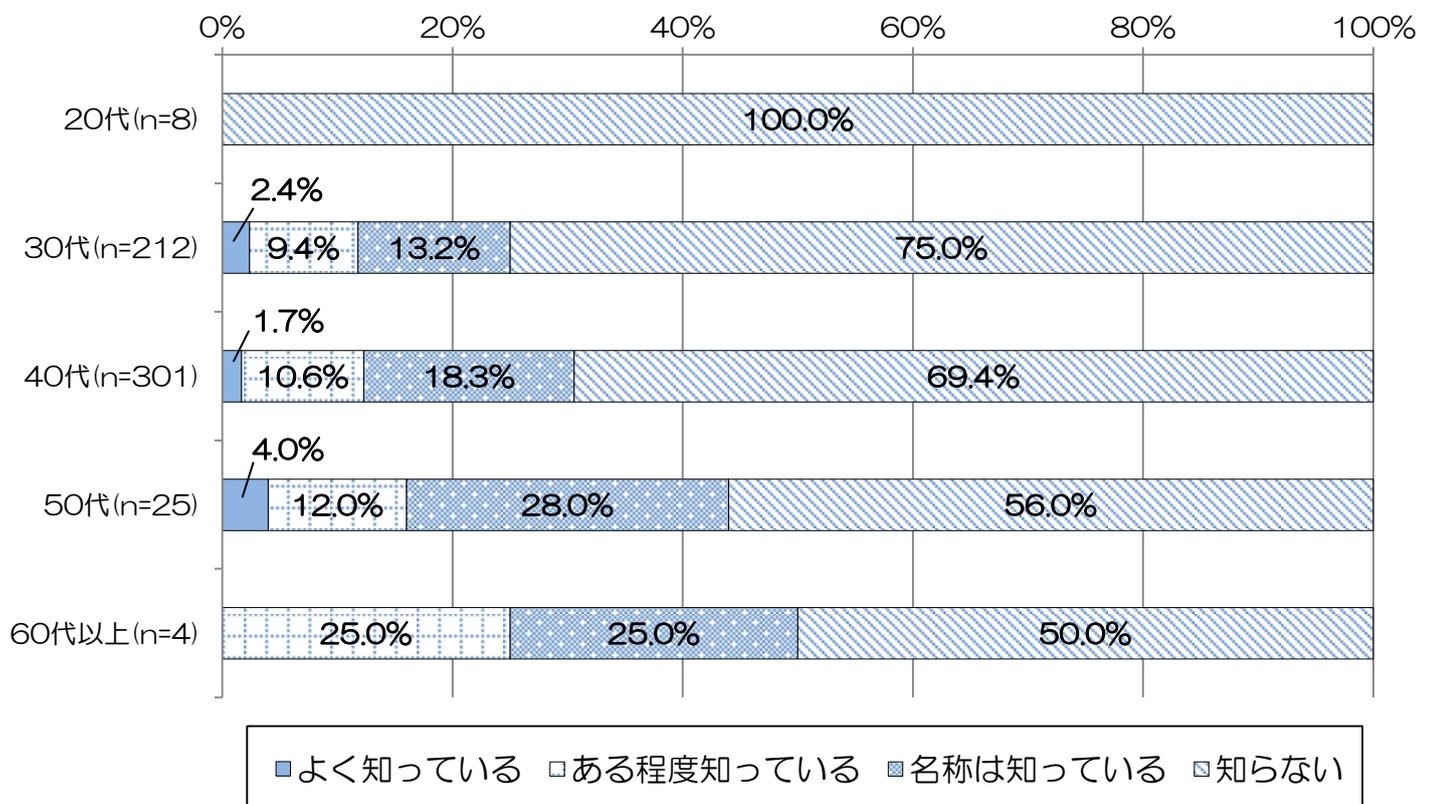
公募委員の募集について、「知らない」という回答が全体の3分の2を占めています。年齢別では、年齢の若い世代ほど、「知らない」と傾向が見て取れます。

問5 自治基本条例では「協働」について定義していますが、「協働」という言葉を知っていますか。(1つだけ○)

【全体】(n=553)



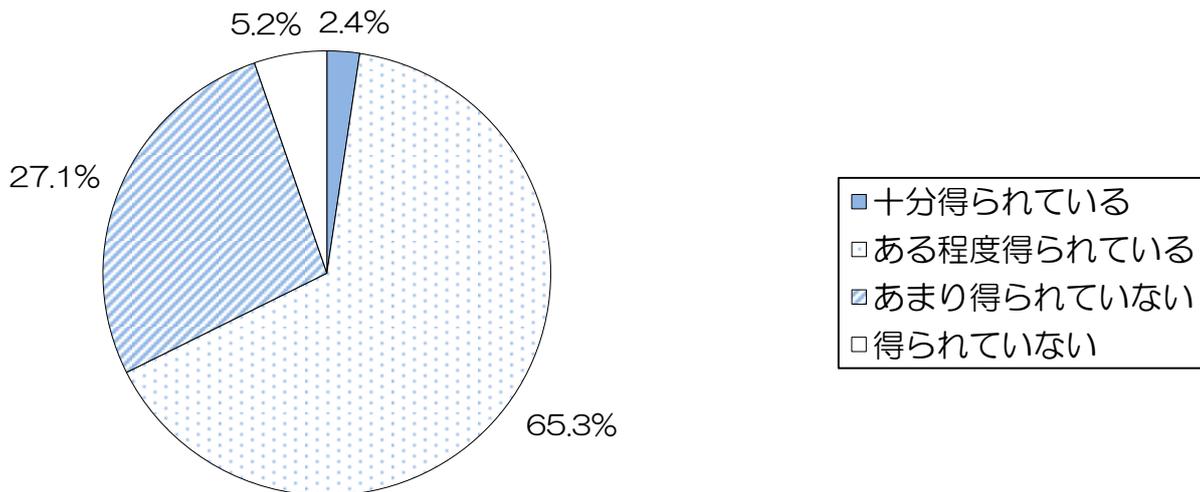
【年齢別】



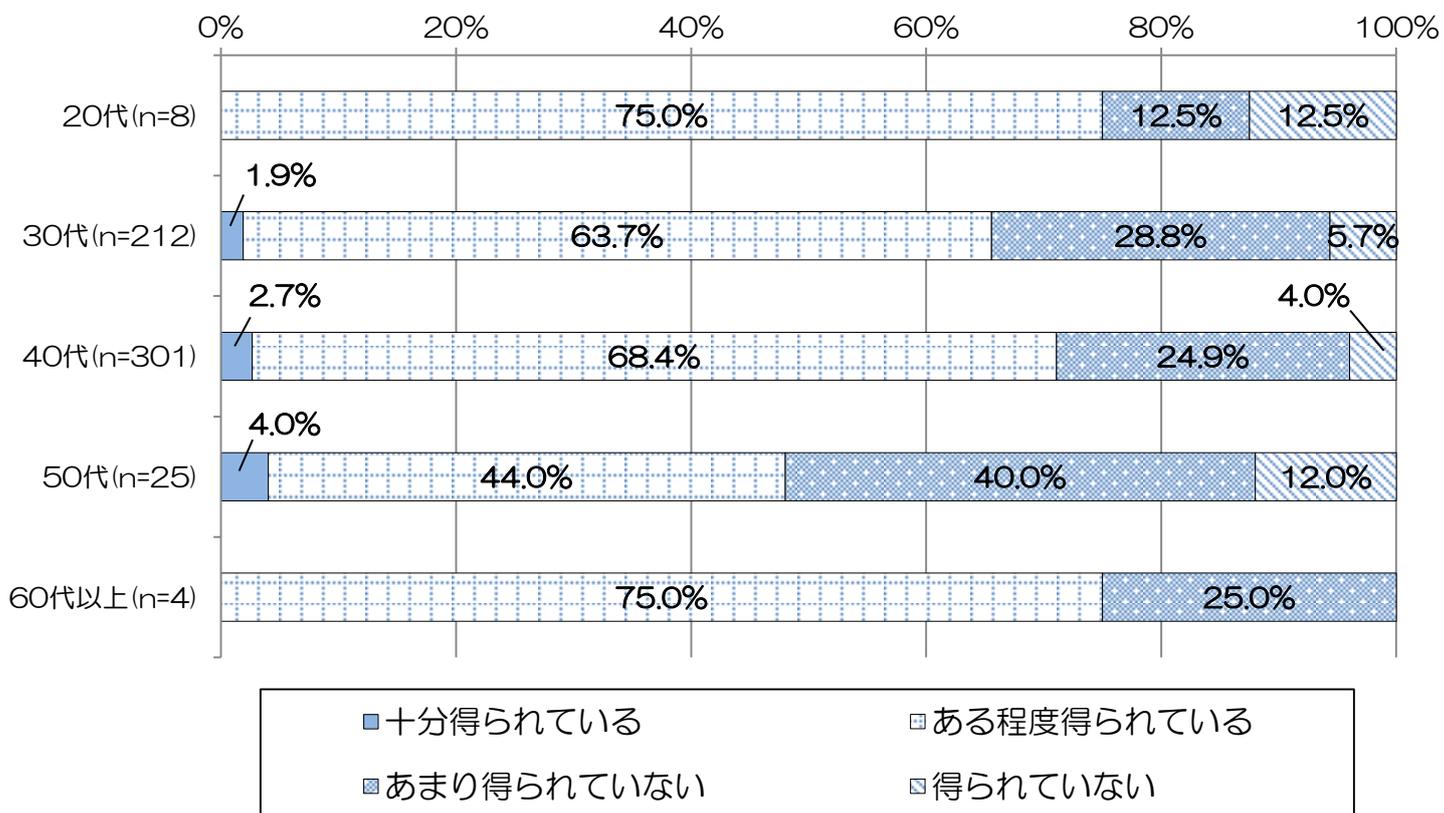
「協働」という言葉を知らないという回答が70%を超えています。年齢別では、若い世代ほど「知らない」という回答が高い傾向ですが、20代では全ての回答で、60代以上でも半数が「知らない」という結果でした。

問6 子育て中の皆様にとって必要な情報は町から得られていますか。(1つだけ〇)

【全体】(n=553)



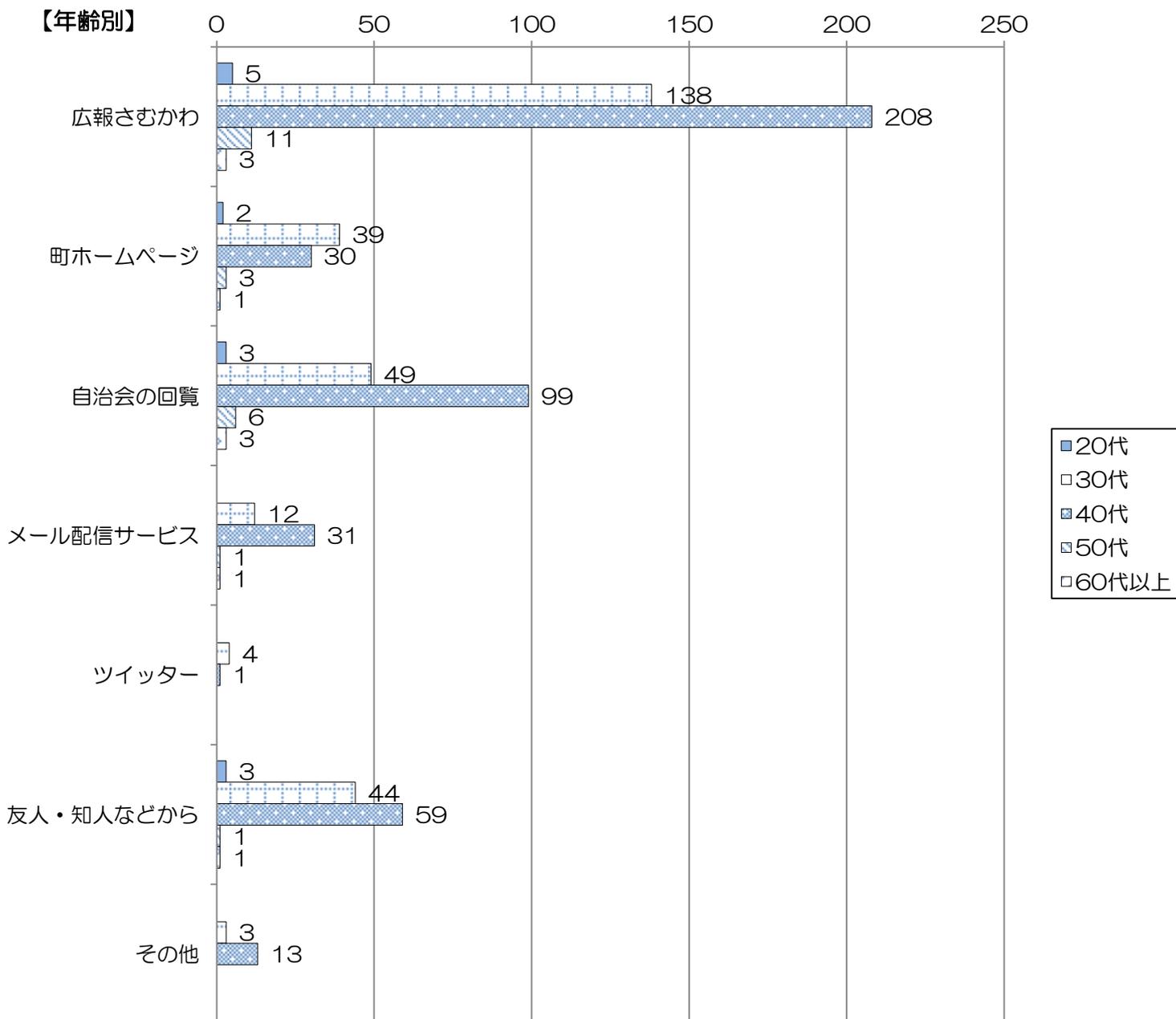
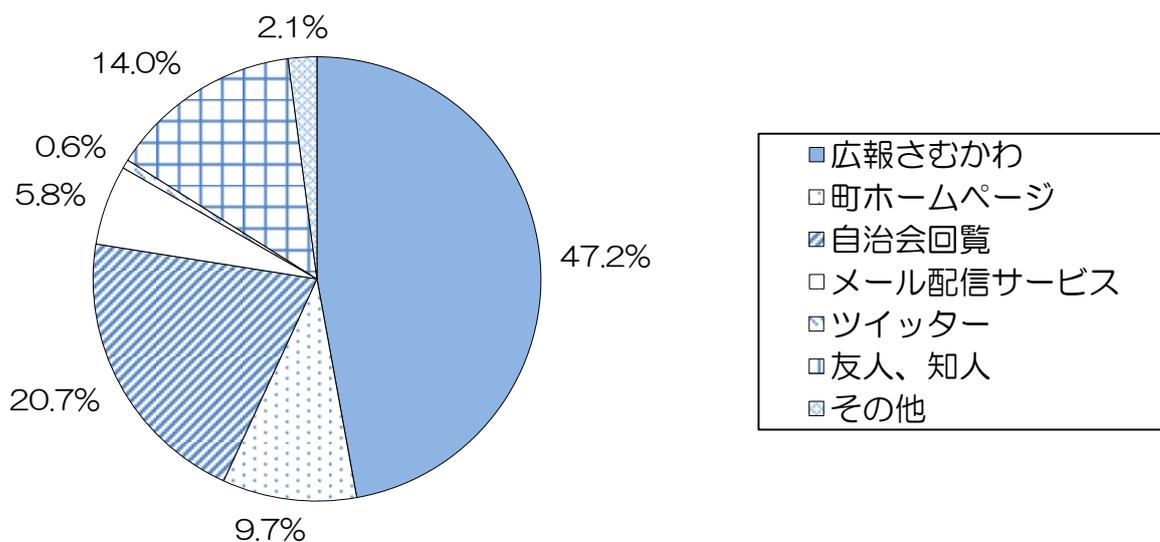
【年齢別】



「ある程度得られている」が、どの世代でも最多の回答を占めましたが、「十分に得られている」という回答は、ごく少数にとどまっています。

問7 前問で1および2と答えた方にお聞きします。必要な情報は次のうち、どの方法で得られていますか。(複数回答可)

【全体】(n=774)



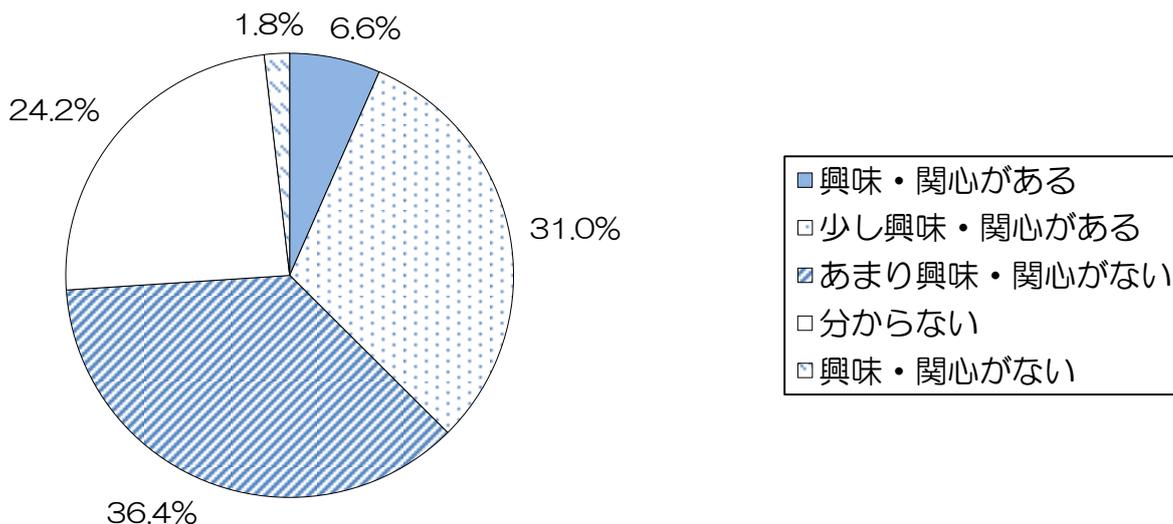
「その他」の回答

タウンニュース（2）、封書や葉書、学校からの配布物、すきっぷ（6）、ポストのチラシ、郵便、町役場での相談、問い合わせにて、公民館にあるチラシや張り紙、ポスター、予防注射は病院で、健康管理センターや子育て支援センター、書類

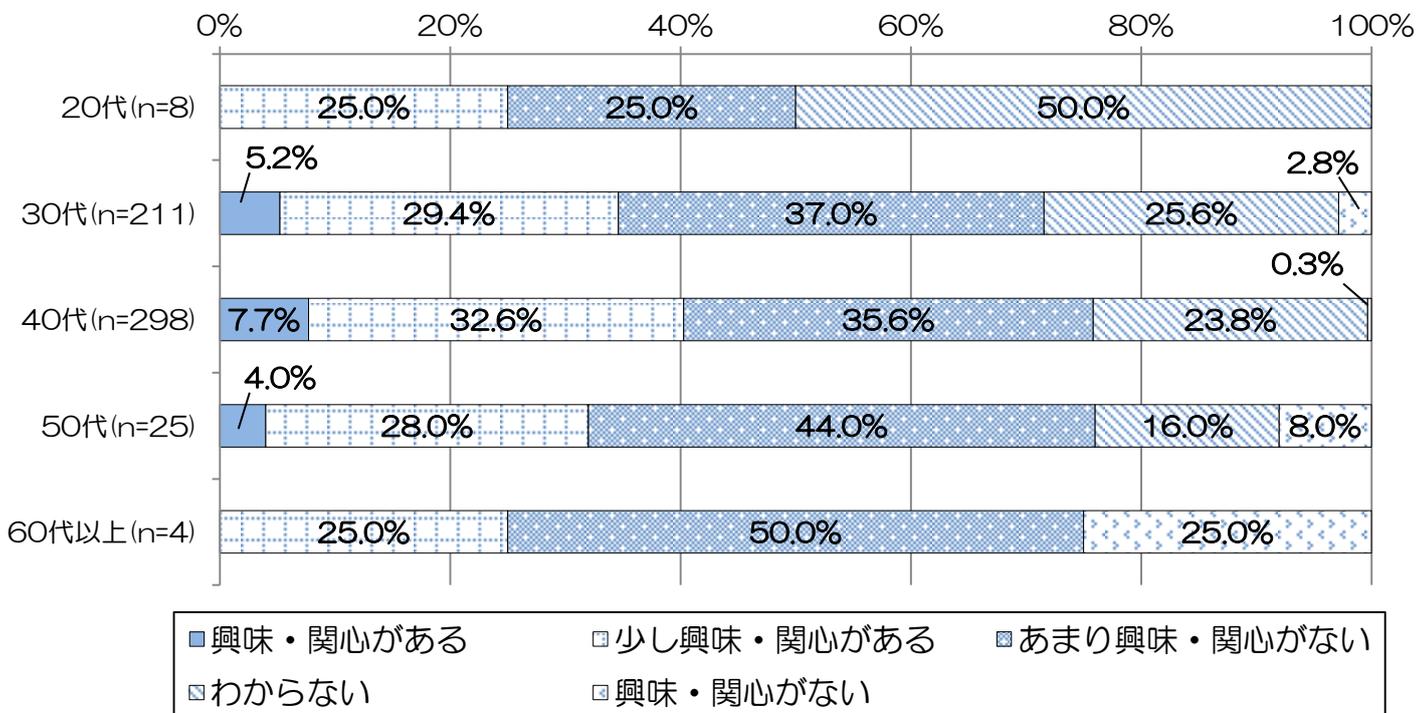
どの世代でも、「広報さむかわ」が最多の回答となりました。また、20代、30代でも「町ホームページ」や「ツイッター」などインターネットを使って情報を得るよりも、「広報さむかわ」「自治会回覧」など紙媒体によって情報を得る傾向があるようです。

問8 まちづくりへの参画や協働に興味・関心がありますか。（1つだけ〇）

【全体】（n=549）



【年齢別】



「興味・関心がない」の理由

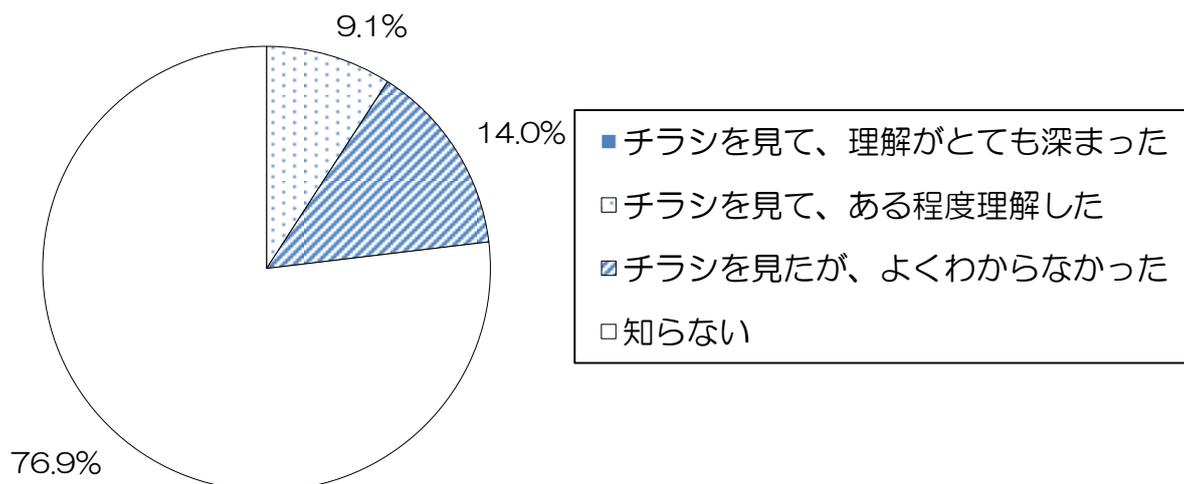
- ・要望を伝えても実行されないと思うと、だんだん興味が無くなる。
- ・寒川町まちづくりの方向性がよく分からない。
- ・参画や協働としていますが、名前だけの様な気がする。
- ・10年住んで何一つ住みやすく変わった所がない。

- ・チラシを配布されても読まなければ、興味がでない。子育て中なので忙しくて読んでいる暇がない。
- ・今何をやっているのか全く分からない。町長が学童に対して「なぜ、祖父母が見る事が出来ないのか」という発言をした事があり、信頼していない。祖父母がいたら学童に預ける訳がない。
- ・あまり時間が無い為。

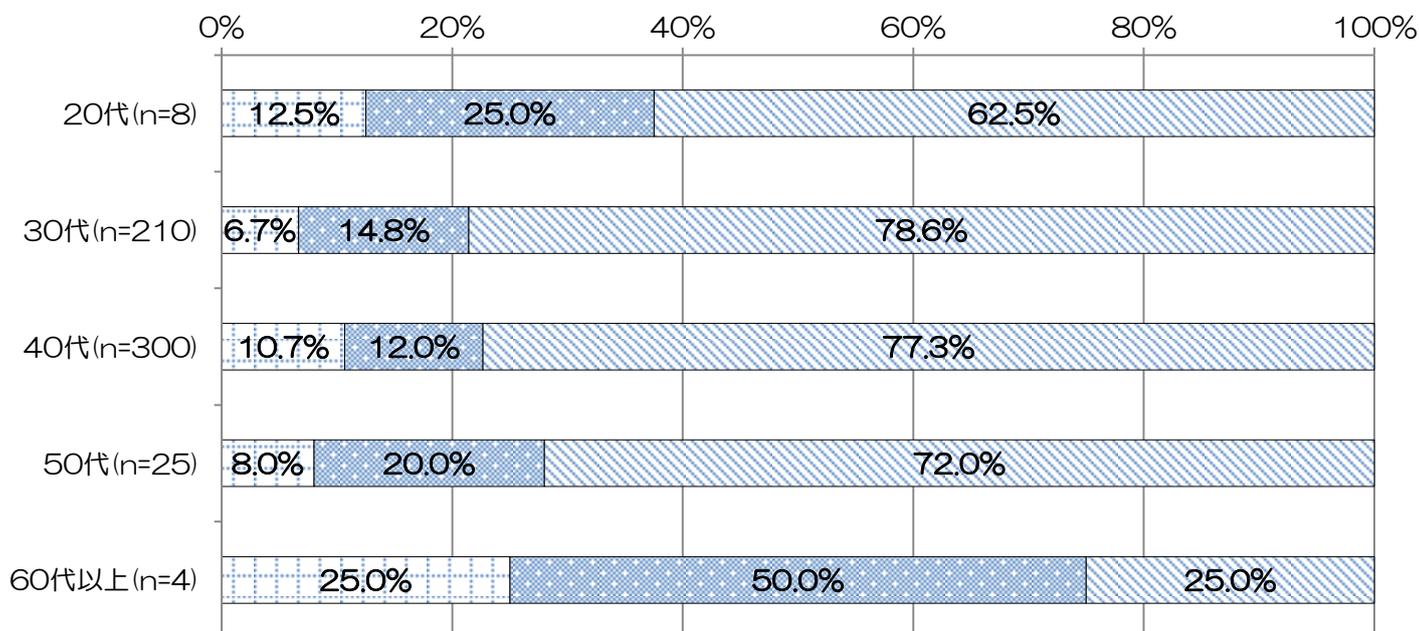
「あまり興味・関心がない」が最多となりました。また、年齢が上がっていくにつれて、「あまり興味・関心がない」の割合が高くなる傾向もありました。

問9 自治基本条例や協働について理解を深めていただくために、平成27年8月に「協働PRチラシ」(※4)を全戸配布しましたが、知っていますか。(1つだけ〇)

【全体】(n=550)



【年齢別】

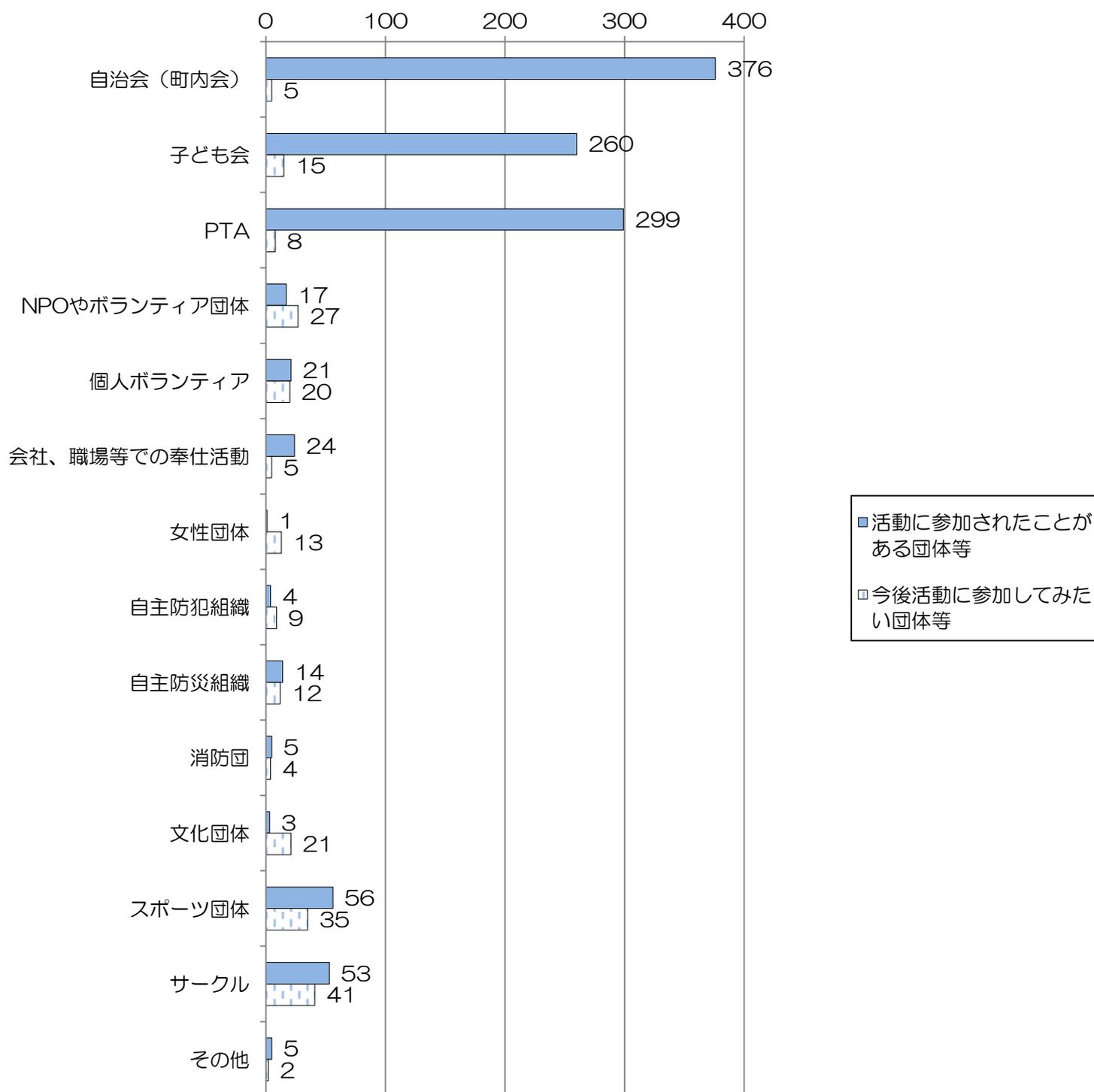


- チラシを見て、理解がとても深まった
- チラシを見て、ある程度理解した
- ▨ チラシを見たがよくわからなかった
- 知らない

「知らない」が最多の回答を占めました。20~50代で「知らない」が過半数を占めた一方で、60代では「チラシを見たがよくわからなかった」が過半数になりました。

問10 次の団体のうち、これまで活動に参加されたことがある団体等をAの回答欄に、今後活動に参加してみたい団体等をBの回答欄に数字をお書きください。(複数回答可)

【全体】(n=1138)



「その他」の回答

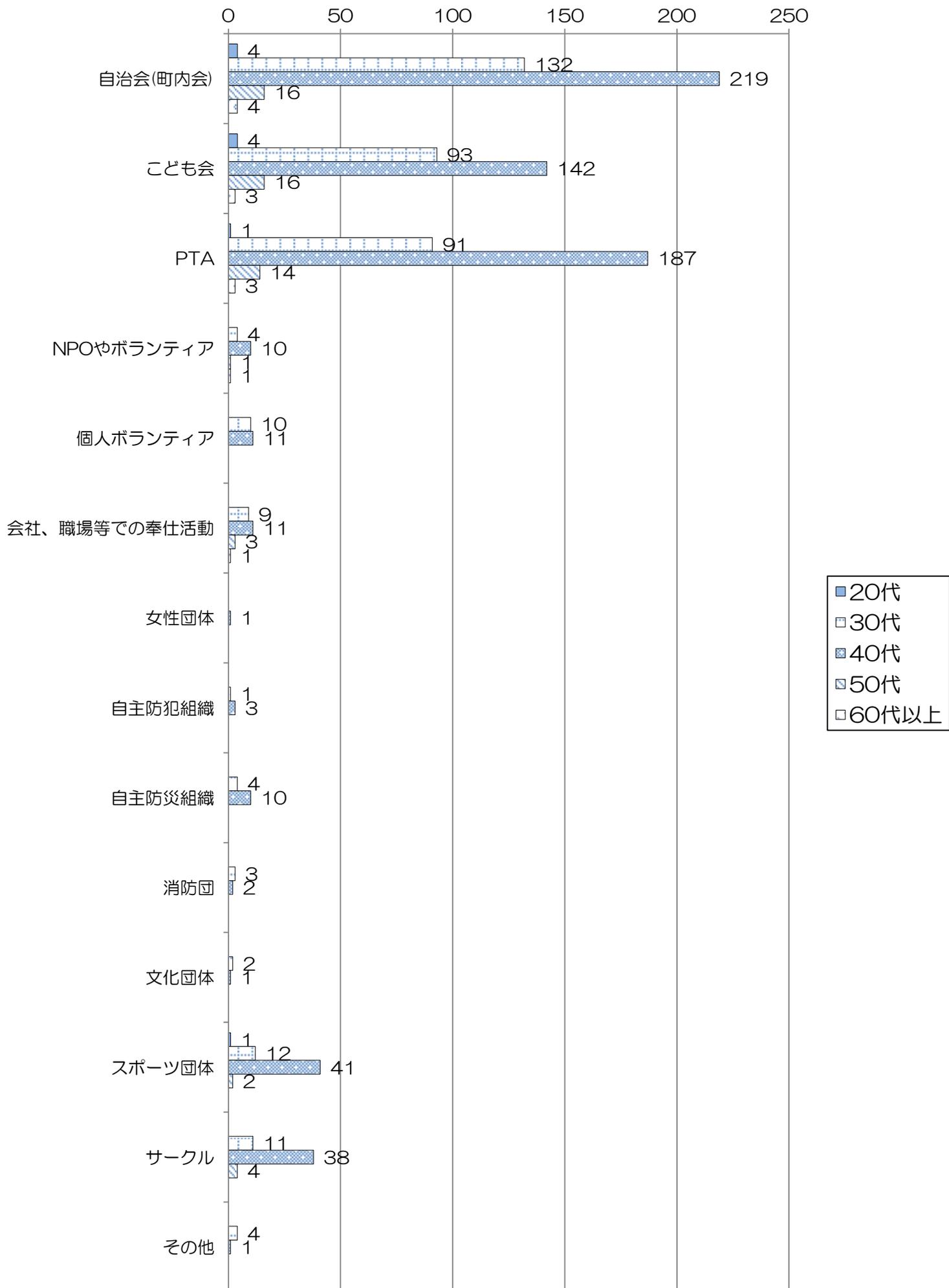
A: 活動に参加されたことがある団体等

- ・地球っこひろば
- ・おはやし、食育改善委員
- ・環境浄化委員会

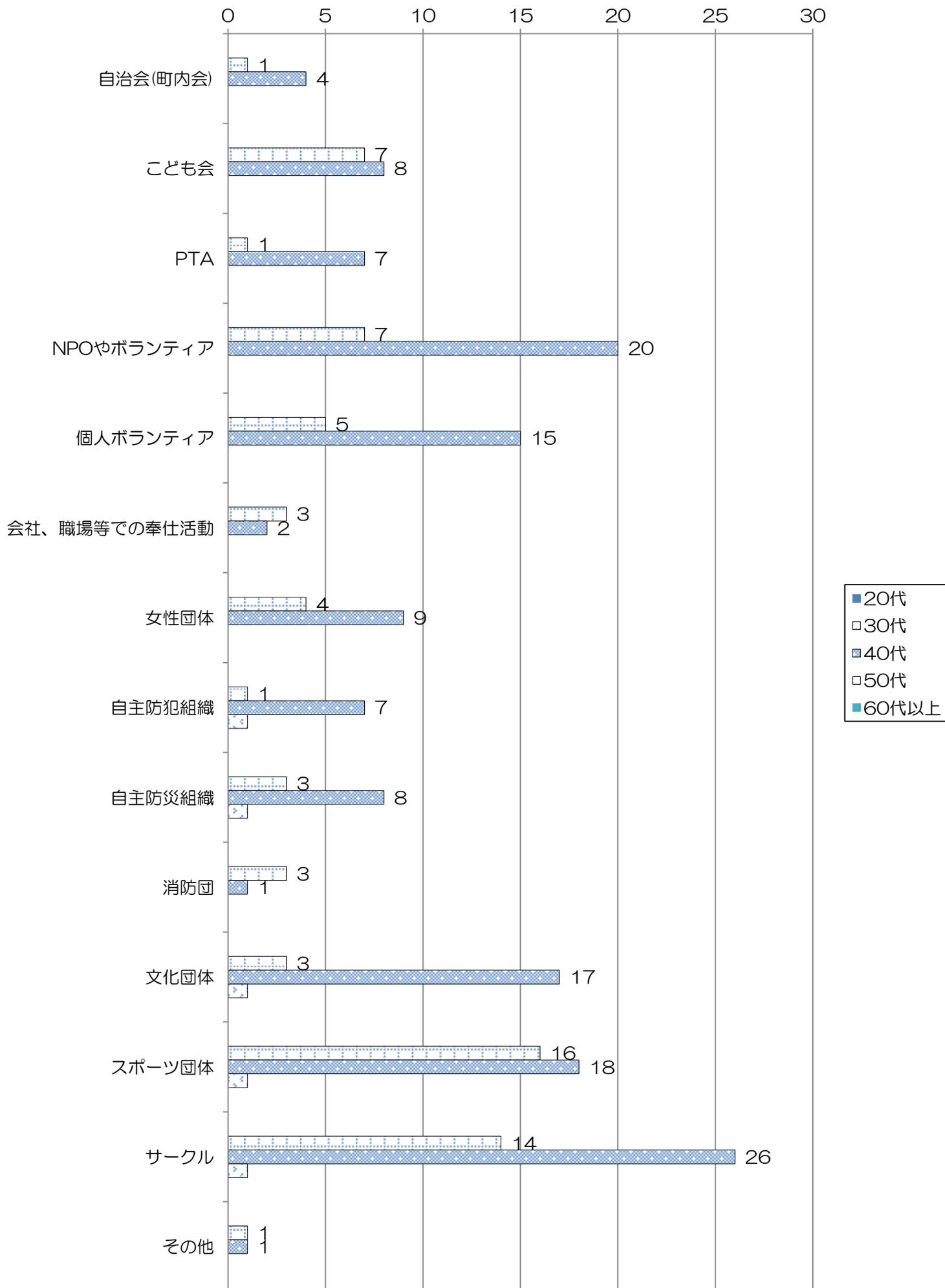
B: 今後活動に参加してみたい団体等

- ・子ども会が地域に無い為、あったら良いなと思っています
- ・夏休みのラジオ体操

# 【年齢別】活動に参加したことがある団体等

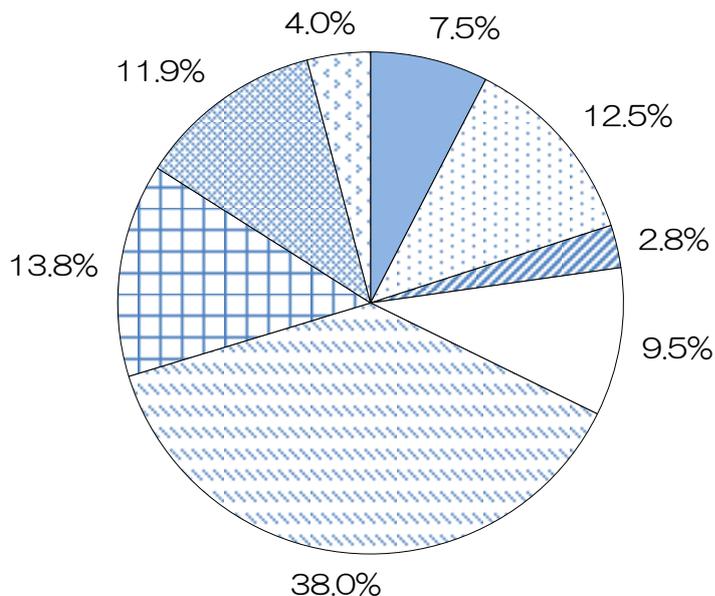


【年齢別】 今後活動に参加してみたい団体等



問11 自分の子や孫が寒川町に住むとしたら、町に特に力を入れて欲しいのはどのような地域づくりに向けての取り組みですか。(1つだけ)

【全体】(n=545)



- 1. 住宅地や働く場所に若者や新しい居住者の定着が進む地域
- 2. 住んでいる人が生き生きとしている明るい地域
- 3. 神社や花を活かした観光名所を整備し、多くの来町者が訪れる地域
- 4. 地域住民が顔見知りの関係となり、お互い助け合える地域
- 5. 子どもや女性、高齢者等が安心して暮らせる地域
- 6. バス、電車等、交通機関の利便性が高い地域
- 7. 教育環境の充実した地域
- 8. その他

※参考

複数回答された方の上記グラフに表示されていない回答数は次のとおりでした。

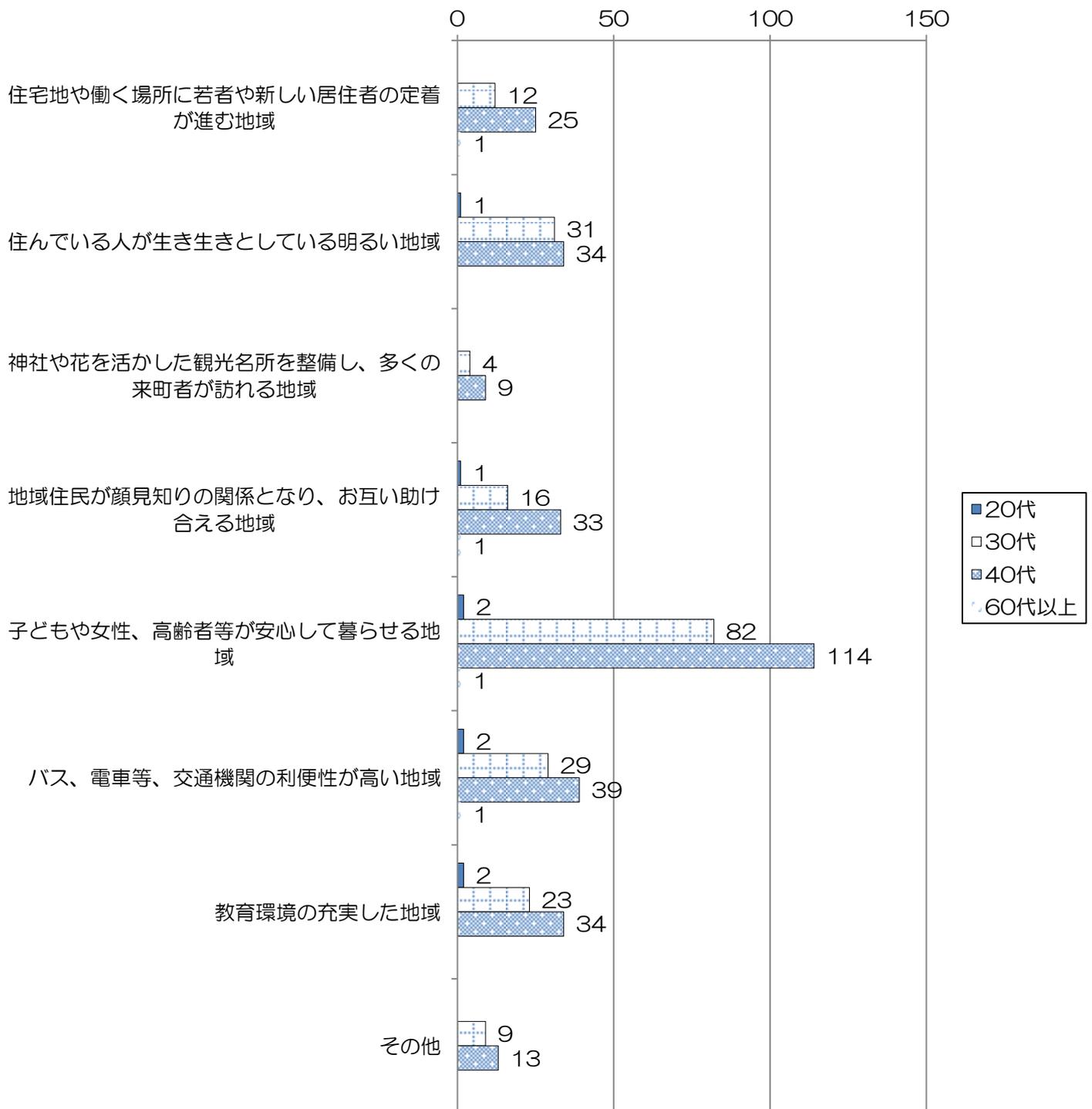
- 2. 住んでいる人が生き生きとしている明るい地域 (回答数: 2)
- 3. 神社や花を活かした観光名所を整備し、多くの来町者が訪れる地域 (回答数: 3)
- 4. 地域住民が顔見知りの関係となり、お互い助け合える地域 (回答数: 9)
- 5. 子どもや女性、高齢者等が安心して暮らせる地域 (回答数: 27)
- 6. バス、電車等、交通機関の利便性が高い地域 (回答数 30)
- 7. 教育環境の充実した地域 (回答数: 35)
- 8. その他 (回答数 27)

その他具体的意見の分類分けをしたところ、結果は次のとおりでした。

自由意見集計結果 (複数回答された方のご意見も含む)					
	分類	意見数		分類	意見数
(1)	教育環境の整備等	10	(6)	場所の提供	2
(2)	交通関係	7	(7)	地域活動	2
(3)	商業施設	3	(8)	寒川の将来	2
(4)	健康・医療	2	(9)	税金	2
(5)	情報	1	(10)	その他	1

※意見の詳細については、別添「自由意見集」をご覧ください。

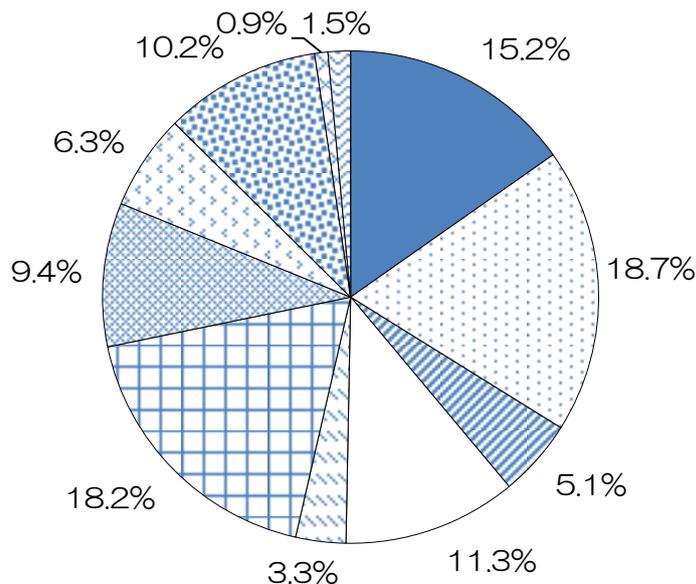
## 【年齢別】



どの世代でも、「子どもや女性、高齢者等が安心して暮らせる地域」が最も多い回答になりました。将来の地域づくりに関して、年代による相違の傾向は、あまりないようです。

問12 子どもがまちづくりへ参加するためには、何が必要だと思いますか。(複数回答可)

【全体】(n=1167)



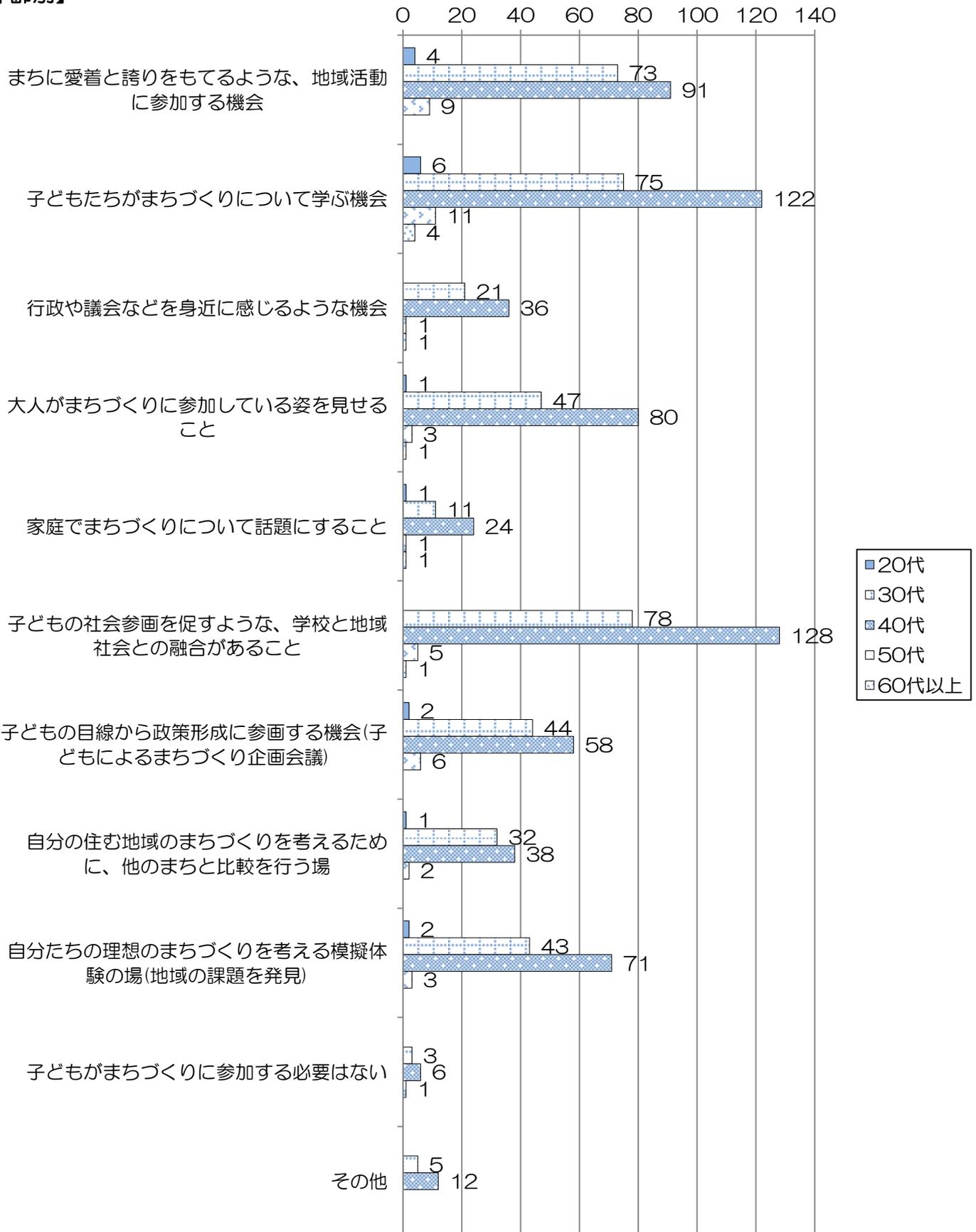
- まちに愛着と誇りを持てるような、地域活動に参加する機会
- 子どもたちがまちづくりについて学ぶ機会
- 行政や議会などを身近に感じるような機会
- 大人がまちづくりに参加している姿を見せること
- 家庭でまちづくりについて話題にすること
- 子どもの社会参画を促すような、学校と地域社会との融合があること
- 子どもの目線から政策形成に参画する機会(子どもによるまちづくり企画会議)
- 自分の住む地域のまちづくりを考えるために、他のまちと比較を行う場
- 自分たちの理想のまちづくりを考える模擬体験の場(地域の課題を発見)
- 子どもがまちづくりに参加する必要はない
- その他

その他具体的意見の分類分けをしたところ、結果は次のとおりでした。

自由意見集計結果					
	分類	意見数		分類	意見数
(1)	教育環境の整備等	1	(6)	保護者が参加しやすい環境づくり	2
(2)	子どもの意見を聞くこと	1	(7)	効果の可視化	1
(3)	大人と関わること	2	(8)	情報	1
(4)	まちづくりについて学ぶ機会	4	(9)	安全	1
(5)	寒川について知ること	1	(10)	その他	4

※意見の詳細については、別添「自由意見集」をご覧ください。

【年齢別】



「子どもたちがまちづくりについて学ぶ機会」が18.2%、「子どもの社会参画を促すような、学校と地域社会の融合があること」が18.2%、「まちに愛着と誇りをもてるような、地域活動に参加する機会」が15.2%と高い回答率を得ました。また、こちらも問11と同様、年代による特質すべき傾向は得られませんでした。

問13 保護者である皆さんが、まちづくりや町民活動に参加するために、最も必要なことは何だと思いますか。ご自由にお書きください。

自由意見の分類分けをしたところ、結果は次のとおりでした。

自由意見集計結果					
	分類	意見数		分類	意見数
(1)	保護者・子ども向けの活動	17	(11)	地域との繋がり	23
(2)	子どもから高齢者まで参加できる仕組み	6	(12)	寒川の魅力づくり	7
(3)	魅力的・参加しやすい活動	30	(13)	若い世代の活用等	7
(4)	やりがい	4	(14)	行政の対応	4
(5)	効果・実績の可視化	9	(15)	情報の発信	42
(6)	積極的な参加	9	(16)	施設	8
(7)	子どもの頃からの地域活動への関わり	5	(17)	安全	4
(8)	子育てしやすい環境づくり	5	(18)	教育環境の整備等	10
(9)	子どもの預け場所の提供	6	(19)	意識改革	15
(10)	町民の意見を聞くこと	9	(20)	身体・精神面	10
			(21)	その他	25

※意見の詳細については、別添「自由意見集」をご覧ください。

## ■自由意見集■

【問11】自分の子や孫が将来寒川町に住むとしたら、町に特に力を入れて欲しいのはどのような地域づくりに向けての取り組みですか。(1つだけ○)

\*その他具体的意見(複数回答された方のご意見も含んでいます。)

### (1) 教育環境の整備等

- ・教育に関してはレベルが低すぎる。小学校はがんばっているが、中学は寒川高校に入れればいだろうという教育、中間層のレベルを上げようという教育ではない。
- ・町としての特徴があまり無いように思う。子育てしやすい町を目指すなら、スポーツに力を入れたら良いと思う。今、新体操の教室が無くて、他の地域に習いに行ったりしなくてはいけないので困っています。新体操の部活も無いし、町で良い先生を1人雇って中学3校のコーチ、小学生の教室等をやっていただけたら良いのに…と思う。寒川町は他市に比べて遅れていると思う。特徴が無いのなら、せめて教育等に力を入れた方が良いと思う。
- ・神奈川県平均レベルの学力が身に付く教育の実施をしていただきたい。
- ・学力が低すぎる。学校に信用できる先生が居ない。頼れない。人としてどうかと思える先生が多すぎます。
- ・寒川は教育レベルが低く、驚いた。出来ることなら引っ越しをして、子どもに安心して教育を受けさせたいと思っている。今のままのレベルなら子に将来寒川に住むことは勧めないし、孫ができたなら寒川以外の学校に通わせたい。図書室1つみても、寒川は教育にお金をかけていないことがよくわかる。もっと現場の先生達に意見を聞いて、学校にお金をかけるべきだ。他の地域から来た者からすると寒川の教育レベルはひどすぎる。
- ・子育ての環境が良い町にしてほしい。他の地域と比べて子育て環境が劣っている点が多いので改善してほしい。
- ・小学校にエアコンが未だにないのは、本当にかわいそうだと思う。
- ・タブレット学習等、導入を検討する前に、小学校教室へのエアコン設置を是非お願いしたいと思います。しっかりと子ども達が集中して学習に取り組める環境を作って頂きたいです。
- ・中学校を給食にしてほしい。
- ・小学校だけでなく、中学校も給食を…。

### (2) 交通関係

- ・交通機関が便利だと居住者が定着します。人口を増やす為に、是非力を入れて取り組んで下さい。町外の高校、大学、通勤を考えると寒川に家を買うことに悩んでしまったので。
- ・歩道がなく危ない場所が多い。カーブミラーも少なく危ない。子ども達が安心して歩ける場所が少ない。
- ・寒川町は道路が狭かったり、歩道がなかったりと道路安全が他の市町村に比べて劣っていると思います。大きな車両が通ったり、交通量はあるので、そういった整備に重点を置いてほしいと思います。
- ・道路の整備→歩道が少ない。

- ・子どもの通学、塾の帰りなど夜道が暗すぎて心配です。(コミュニティバスも遅くまで通っていない)
- ・渋滞のことをもっと考えてほしい。
- ・出入りなど、少し考えて頂きたい。子ども達が増えている中、寒川町の道の悪さはどこに訴えれば声が届くのか。工事した後が平らになっていなく、道がデコボコ。トラックや自転車のマナーが悪すぎる。本当に考えてください。

### (3) 商業施設

- ・イオンぐらいの買い物出来る場所がないととても不便だと思う。
- ・アウトレットやショッピングモールの設立
- ・大型商業施設を誘致してほしい。交通機関を利用しないと買い物にも行けない。

### (4) 健康・医療

- ・藤沢市から寒川町へ引っ越して来たのですが、寒川町の子どもの健康診断のずさんさにビックリした。母親同士でもよく話題になりますが、聴力検診を母親がマニュアルを見ながら、子どもに質問し、書類を提出する検診に確実性があるのか？藤沢では医者が検査するのに…。小学生では、背骨の検診が寒川ではありません。寒川の健康・スポーツ課に聞いたところ、保健室の先生が全校生徒をチェックしていますとのことでしたが。子どもの基本的な健康診断に対して、お金をかけない町というイメージがあり、老人中心の町なのが目につきます。
- ・今は小学校まで医療証が負担ですが子どもの保護者としてはこの先中学生や高校までは負担してほしいです。海老名市や藤沢市などは負担していると聞きました。宜しくお願いします。寒川も負担していただけると保護者は、助かります。

### (5) 情報

- ・神社にしてもせっかく有名でも一部のみが利益がありまわりはむしろお正月等迷惑している。これはどうしたものか？町の職員の広報活動がほとんどないように思う。

### (6) 場所の提供

- ・サークルなどではなく、子どもや高齢者が普段から過ごせる場所が欲しい。(公共施設の一角、ひとコーナーでも)
- ・公園の遊具が少なく、寒川町内で子どもが満足して遊べる場所がない。

### (7) 地域活動

- ・茅ヶ崎などでよくお年寄りの方が朝や帰りに旗振りをして子どもの安全のお手伝いをしている姿をよく見かけます。寒川のお年寄りや地域でそのような事が出来たら良いのにといつも茅ヶ崎を羨ましく見えています。
- ・働く事ができない、子どもや高齢者に優しい町にこれからなっていってほしいです。お年寄りを尊敬できるよう子ども会と自治会との関わりを増やしていきたいです。大曲にはおこじゅうの会があり、子どもとお年寄りが関わる機会があり有難いと思っています。親だけではない地域の方々協力で子育てを一緒にして頂いていると感謝しています。

## (8) 寒川の将来

- ・子どもが大人になっても寒川に住んで働きたいと思える町にしてほしい。せっかく町税で教育しても東京や首都圏へ行って生活をしてしまうのは少し残念です。町の自営の方など、次世代への支援や、活気ある町になるといいと思います。
- ・色々な団体があるように思いますが、それぞれが独立した団体であるがゆえに横のつながりが薄い気がします。昔から居た方たちは新しい住人をなかなか受け入れないこともあり、地域でも差があるので、「寒川町」が1つの団体として活動できる町になってほしいです。

## (9) 税金

- ・ツインシティや新幹線駅にお金をとっておくのではなく子ども達の教科書代や、プール建て直し、高齢者や育児金などにお金を使ってほしい。
- ・町外の人からはもっと駐車代などを取るべきです。税金が高い。

## (10) その他

- ・学校でも役場でも、人間味のある対応をしてくれる人達を配置してほしいです。「予算がないから今は無理です」とか、「上に聞いてみないと結果が出ません」…で町長決定…など…人任せの行政を変えてほしいです。

## 【問12】子どもがまちづくりへ参加するためには、何が必要だと思いますか。(複数回答可)

### \*その他具体的意見

#### (1) 教育環境の整備等

- ・学校の環境を整備し、自分達はこの町で大切にされているという意識づけをすること。

#### (2) 子どもの意見を聞くこと

- ・例えば中学校のジャージは何ですぐに毛玉ができるのか?誰がジャージの素材を決めてるのか考えてみる。小学生も怖いと思う通学路などを聞いてみる。色々意見が出るのではないのでしょうか。

#### (3) 大人と関わること

- ・学童保育等を通して町の大人たちと関係を作って欲しい。春・夏・冬休み他、子ども達だけで家で留守番をしているのを少しでも減らし、保育されつつもいろいろな良い体験をして欲しい。
- ・学校の中でその地域に住んでいない先生方に任せきりにせず、その地域に住んでいる大人(保護者のみでなく)がもっと子ども達と関わるべき。地域の大人に見守られ気にかけてもらっているという安心感は生まれるのでは?

#### (4) まちづくりについて学ぶ機会

- ・料金をちゃんと取って個人店と役所で対応しながら、寒川町の個人経営者と未来の社会人となる子どもとで“キザニア”的なリアルなお店のお手伝い会みたいな事をやってもらいたい。例:一之宮のドミノピザは2000円でピザ作りをさせてくれて、友達の間で大人気でした!!例えば、親がお客役、子どもが経営者、経営者が両方にアドバイスする。
- ・学校行事としてボランティアの活動に参加すること。人は助け合って生きるんだと小さい頃に体験させること。老人ホーム訪問など幼稚園でもやっていた。

- ・子どもが行政に興味を持てる入り口を。ゆるキャラでもいいけどコロ坊はあまり会ったことはないですね。
- ・大人と子どもと一緒にまちづくりについて学ぶ機会をもうけ、活動に参加する。

### (5) 寒川について知ること

- ・遊び場を通じて寒川の良いところを知ってもらう。

### (6) 保護者が参加しやすい環境づくり

- ・親が話すことを良く聞いているので大人が参加しやすい環境をまず作る。20年近く住んでますが、よそ者感があり参加しにくいです。
- ・親が積極的に参加するシステムを作らなければ子どもはついて来ないと思います。楽しくやることが前提です。

### (7) 効果の可視化

- ・子ども達が出した意見や案などが目で見えてわかる形で結果として、表れる様な企画がわかり易くて良いと思います。

### (8) 情報

- ・子ども会がありません。夏休みのラジオ体操がどこでやっているのか学校で聞いても分からないと言われました。スタンプカードをもらっても行けません。どうなっているのか？

### (9) 安全

- ・子ども達が安全に過ごせる町づくりを。行政や議会がやっていると分かるようにする。

### (10) その他

- ・まずは未来へ向けたまちづくりよりも、今ある物(例えば学校や公園などの身の回り環境)を大切にすることが大事。自分達から下の子ども達へ伝えていくこと(物)だと意識して欲しい。
- ・学校側の負担になるような事は慎むべき。町の職員が主に前に出てやるのならいいが、学校の先生達は大変になるのはやめた方がいいと思う。
- ・小学生の時は親と参加することはあるが中・高校生になると難しくなる。学校が町内でなければ学校事などでは無理がある。企画の時だけでなく自治会のような組織があっても良いと思う
- ・子ども議会を読みましたが答弁が適当すぎます。もっと具体的に答弁するべき。

**【問13】保護者である皆さんが、まちづくりや町民活動に参加するために、最も必要なことは何だと思えますか。ご自由にお書きください。**

**\*自由意見**

#### (1) 保護者・子ども向けの活動

- ・親子で参加したくなるような町民活動の企画を考えて、支援をして欲しい。親子で楽しみ更に地域の方と一緒に楽しむ時間を沢山作る事で地域への繋がりも深まり参加しやすくなる。子どもが大切にされる地域のイベントが沢山あると子ども達の自尊心も育ち自信が付き、そんな子ども達を見て、保護者も一緒に活動したくなると思う。子ども達が輝けるような町づくり！！期

待しています！

- ・身近に感じられるように、家族で参加できるような企画があると良いと思います。
- ・本当に身近にきっかけがないと参加できないと思うので学校を通じて子どもと一緒に何か参加できるものがあればいいと思う。
- ・仕事、子育て中と何かと地域活動をする機会が少ないが、親子で活動できることが多ければいい。
- ・親子で参加できるイベント。
- ・親子で参加できる機会があると良いと思います。
- ・日常生活の中でなかなか町民活動を進んで行うというのは難しい気がするのは、慣れていなかったり、情報を得られなかったりと、いろいろあると思います。しかし子どもの行くところには親も必要に迫られ参加すると思うので、だしに使う訳ではありませんが、親子が共に参加して活動できる事が増えていくと良いと思います。
- ・親や子ども、家族全員で取り組める事があれば参加しやすくなると思います。
- ・保護者が積極的に地域のお祭りや町で行われるイベントに親子で参加できれば、良い機会なのではないかと思います。
- ・学校行事などで親子で参加できるイベントなども通じ、親世代が町づくりに興味を持てる機会が増えると良いと思います。
- ・子ども達と一緒に参加できる活動づくり。
- ・子育て、日常生活に役立つ内容の活動を多くして、親が興味を持つようにする。
- ・子どもが小学校低学年なのでさまざまな活動は親子で参加します。子どもが関心を持つようなイベント活動をお願いします。
- ・大人になってから参加して下さいと言われても、興味も時間も無いので参加する気持ちが沸かない。小さい頃から色々なイベントに参加したり、ボーイスカウトのように災害の炊き出しに参加させたりすると自ずとまちづくり、町民活動に興味を持つと思います。自分の力が必要と感じる体験。大地震で被災した若者達のように心から人を助けたいと思わないと人の心は動かせないと思います。成績の内申書の為に花植ボランティアに参加している学生を見るとこれではダメだなといつも感じます。
- ・子ども主体のイベントがもっとあればいいのでは？
- ・今の時代、人と関わる事が少なくなっていると思います。自治会もそうですが、子ども会への参加も少ない気がします。親が仕事をしている家庭も多く、子どもがしてみたい!と思っても親の都合で参加出来ないのが現状です。子どもだけで参加できる(ボランティアで見てくれる人がいて) 場を増やせばとても良いと思うのですが…。
- ・子ども大会のように子どもが町の行事に参加できると良いと思う。

## (2) 子どもから高齢者まで参加できる仕組み

- ・年齢に関係なく子どもから高齢者まで参加できる仕組み。
- ・お年寄りも含め、様々な世代間の交流が図れると良いのではないのでしょうか。
- ・お年寄りも自分たちが頼りにされていると思えるように協力してもらい、子どもと仲良くできるチャンスをもたせる事も地域をまとめて地域を知る事になると思います。
- ・超高齢化社会へ向けて、保育園や小・中学校の空き教室を利用して、幼少から若年層まで、どの世代の人々も高齢者とふれあい、お互いに見守り、助け合えるような寒川町独自の取り組みがあれば良いと思います。核家族化が進み、高齢者との関わりが殆どない生活のままでは、世

- 代別に善し悪しが分かれてしまい、町が目指すものが統一されない恐れを感じます。毎日の生活の中で、子どもも高齢者も、同じ場所へ通い、過ごす時間をつくることで、相互に良い影響が得られると思います。そして、子ども達を通じてその両親の参加が増えていくと思います。
- ・自治会の活動に参加した事があるが、私の住んでいる地域はとても高齢者の方が多く小さな子どもを持つ世帯が少ない地域であると共に昔からこの土地に住んでいる方も多いため、なかなかその地域にまつわる風習や慣習を学ぶ機会も少ないまま 40 年間で過ごしていました。なので、色々な世代の人達が交流を深める場を町の方でもサポートし、たくさんの人達が声を交わして、町民活動に誘い合える場を作っていくことが大切だと思う。自治体・町内会だけに任せきりになってしまうことも多くあるのではないかと思う。
  - ・子どもからお年寄りの参加をしていく事が必要だと考えます。

### (3) 魅力的・参加しやすい活動

- ・町民が参加したいと思えるような活動にしてもらえば若い人達も参加できると思いますし、町自体も活気ある町になると思います。
- ・苦にならず楽しく参加できるような企画を考えて欲しい。
- ・子ども達が寒川町をもっと好きになれるような活動に力をいれて欲しい。
- ・一人に負担が多すぎると参加するのに躊躇します。子育て中の人や介護をしている人、自身の体調が悪い人など様々な方がいると思うので、気軽に負担にならない活動があれば良いと思います。
- ・活動に参加しやすい雰囲気作りだと思います。誰でも入っていきやすい窓口であれば参加しやすいと思う。何をやっているか分かり易いとさらに良いと思う。
- ・地域のごみ拾いなど参加した事もありましたが、行った時にはもう終了していました。暗黙のルールみたいな物があるのでしょうか?新しく引っ越して来た人間には分かりません。行った時には「えっ今来たの?」という空気。もう参加したくないと思いました。子どもと一緒に参加して、そんな空気残念でした。新しい人間が合わせてゆくのも大事ですが、長く住んでいる方にも、もう少し参加しやすい空気を作ってほしいです。
- ・個人が参加しやすい体制を町政が積極性を持ち町民に提供する事が参画への第一歩と考える。具体的には週末を利用した時間の短い活動や種類が豊富な活動体型をトライ&エラーでも良いので試作的でも検討していただきたい。
- ・時間・もっとやりたいと思えるような具体的な内容・理解力。
- ・分かり易い説明と仕組み
- ・今まで子育てに忙しく、まちづくりについて考えたことがありませんでした。それではいけないと思いますので、そういった子育て世帯がどうしたら町民活動に参加しやすくなるかを考える事が必要だと思います。
- ・活動内容が可視化出来ると達成感を味わえる。
- ・活動に参加しやすさ。
- ・愛着と誇りを持てるような地域活動を考えて欲しい。
- ・敷居が低く感じられること、また負担に感じない参加の仕方ができるなど。いかがでしょうか?
- ・負担に感じずに自然に参加できる活動。
- ・皆が参加しやすい企画であること。
- ・気軽に参加できるような雰囲気作りだと思います。
- ・全員がそれぞれの立場で参加する事。一人暮らしとか病気とか年齢とか色々ある中で一部分の

参加を企画者が認める事が大事だと思う。参加しないと自治会を脱会する人の中には色々な理由がある。一年間活動できないのではないが迷惑をかけてしまうなど考えがある方がいる正会員、準会員この企画の時だけなど参加しやすい環境を作ることだと思う。

- ・その人が出来る事を出来る範囲でやっていくことができれば無理なく長続きするように思います。“役員＝負担が大きい”となると参加したいと思っても二の足を踏んでしまいます。
- ・楽しく活動できる事。負担にならない事。
- ・強制ではなく自然に参加できるものがあると良い。毎日仕事に追われ休日まで行事に参加するのは苦痛。
- ・気軽に参加できること。
- ・気軽さ。
- ・楽しそうと思えば。
- ・町が主体となって活動する場面を作って欲しい。
- ・まちづくりや町民活動に参加する際に伴って発生する役員職を負担感の少ないものとする。
- ・仕事を持っている母親が増えている今、HPを使う方が多くなっているのではないのでしょうか？平日はパートに行っているので、役場に行ける機会が少なく、時間外や休日など少しでも対応していただける時間を多くしていただくと、役場に行く機会も増え、町民活動を知るきっかけにもなるように思いました。
- ・一人では参加しにくいので、友人や知人が一緒だと参加しやすい。
- ・一緒に参加できる仲間・友達。
- ・共働きなどでなかなか町の行事に参加する事が出来ないので、学校の行事として参加できるような企画があると気軽に参加できると思います。

#### (4) やりがい

- ・一人ひとりが義務として参加するのではなく自ら進んで参加できる環境作り何か目標を持ったりできる活動・ポイントが貯まるような楽しみがあるとやりがい、やる気が持てて良いのではと思います。一人はみんなの為に皆は一人の為に。輪が大切だと思います。
- ・「やって良かった」と実感できること。ただ「協働しましょう」と言われても、成果が見える形でなければ参加しようということにはならないと思います。
- ・まちづくりや町民活動に参加する際に伴って発生する役員職に微々たる物でも良いから報酬があれば良いのでは。
- ・自分達が持つ知識や能力を地域活動やボランティア活動で活かせること。

#### (5) 効果・実績の可視化

- ・自分達が参加することで、まちづくりが変わるという実績だと思います。何も変わらないと、意見を言う気持ちが無くなってしまいます。
- ・子どもや自分にとって有益だと思える活動がもっと沢山増えるといいと思います。「このような活動をする事によってこういう風に良くなりますよ」というような具体的な例を示すなど。
- ・意見が実際に反映されるということが大切だと思う。
- ・そもそも町づくりや町民活動を経て実現された住みやすくなったと感じられるような支援が全く感じられない。
- ・有言実行!全ての意見を聞くことは出来ないと思うが、もっともっとこの様なアンケート等を取ってアンケートの内容を開示し、その事、要望などに的確な言動をさらに公表して実行して欲しい。そ

うすればもっと皆が興味を持ってまちづくりに参加するのではないのでしょうか。今の状況では、寒川町に愛情を持っている人は、どんどん減っていくのではないのでしょうか。他の市町村と比べて魅力があまりにもないと思います。

- ・活動により変わった事の事例紹介。
- ・参加したことによるメリットが分かり易くあれば参加する人も増えると思う。
- ・小さなことでも自分の考えが反映されること。例えば「一億総活躍社会≠入れない保育園」では、全然実践されていないということになります。議員や町の職員がもっと町民目線で物を考えてくれないと、結局何も変わらないと思います。町民が「協働」して得られる物はあるのか。職員の手間が省けてよかったね、位では困ります。
- ・意見や考えが広く取り入れられる事。

## (6) 積極的な参加

- ・多方面から情報を得て、参加する意欲を持って生活する事が必要だと考えます。
- ・積極的に参加する気持ちを持ち、行動することが大事だと思います。
- ・近所付き合いが元々あまりしていないので、なかなか参加しづらい部分もありますが、自分で出来る範囲で参加していければと思います。
- ・子どもと一緒に町の行事などに参加していく。
- ・まだ自分自身の町への取り組み(清掃に参加など)が足りない部分も多いので子どもと共に参加し、習慣となるようにしたい。
- ・まず、自分が参加すること。参加できる行事等を見つけて子どもと一緒に参加して楽しむ事だと思います。
- ・まず身近な所から。積極的に参加することだと思います。
- ・もっと私達親が町づくりに参加すべき。そして、親子で美化運動や行政や議会など身近に感じるような機会を作るべき。今の親は参加しなさすぎ、だから子どもも参加しない。子ども会を増やしてもっと入るべきです。
- ・未来のある子ども達を第一に考えて、大人がある程度手本となり行動していく。町を町民に丸投げせずに色々と考えて欲しい。

## (7) 子どもの頃からの地域活動への関わり

- ・町民活動は年齢がかなり上の方が集まっている印象がある。毎日働いていると休日は体を休めたい気持ちがある為、参加する気にならない。自治会費を払っているが回覧板を見ても面白くない内容に理解できない。自治会に入っている意味が分からない。お金がもったいないと感じる。近所付き合いがない為か、参加するものなのか全くわからなく、暇もない。子どもの頃から、町活動の主旨や、活動にどんどん入っていれば、大人になっても上手くやっていけるのかなど。
- ・学校の学習の中で、町役場や地域の自治会など見学する機会を増やし、子どものうちから話し合いや仕事に参加する事に慣れていくと良いのでは。自治会などは地域によって規則が違って分りづらいため、町で見直してもらえると良いと思う。
- ・子どもは未来への考えをしっかりと学ぶ事が大切だと思います。夢に向かって職を見つけていく中で地域の良さをもっと実感できるように体験してもらいたいです。
- ・子どもの頃から地域活動に参加する事により、その子ども達が大人になった時に子どもと共に参加するようになるのではないかと思います。自治会で子どもだけでも(大人同伴でなくても)

参加できるような活動があったらいいと思います。

- ・子どもが小学生なので、いろいろお世話になっている部分があるが、ある程度大きくなったら、まちづくりなどに興味を持たなくなると思うので何かの機会に寒川の歴史の勉強などを入れると自分の住む町に興味を沸くと思う。親としても実践したいけれどなかなかできない。

## **(8) 子育てしやすい環境づくり**

- ・まず、寒川町の行政が子育てできる環境作りに興味を持つ事だと思います。行政が学童には関与しない等、放課後の子どもの安全が守られていない。他市の様に空き教室等を使い。横浜の浜っ子教室等のようにできないでしょうか?綾瀬、海老名もやっています。そこで自分の子どもがお世話になれば、余裕が出来た時に町民としてボランティア等の活動ができると思います。行政側が住民の状態に目を向けず、町民に一方的に活動を求めてきていると思います。せっかくの町単位での動きがとれる大ききなのに残念です。三世代の子育てに頼っている行政では、各自が町民活動の自覚を持つのは難しいです。
- ・子どもを産んで育てていく上で保育園の待機が無かったり、学童の待機が無かったり、核家族でも安心して過ごせる町づくりがあると、町に愛着も沸いてきて周りに目が向けられるようになると思う。
- ・静岡県長泉町のように子どもの医療費や保育料などの補助の拡充を図り、児童が多く集まり、人口を増やすことによって町全体が明るくなると思われる。
- ・まちづくりや町民活動は大切な事だと思いますが、まずは子どもを育てる為の手当てなどに力を入れてほしい。医療証など地域によって異なるなど。本当に必要な人の生活保護は理解できるが、貯金などもあまり調べずに悠々と私達より自由に暮らしている生保の人を見ると働いていることがバカバカしくなる。もっと使うべきところがあるのではないか。寒川は、生活保護がゆるすぎます。
- ・子どもを育てている保護者は、今共働き世帯がとて多く、まちづくりや町民活動に参加する時間など無いのが現実だと思います。子育てを軽減する為の政策が必要だと思います。中学校の給食を始めてもらいたいです。厚木市は寒川町よりずっと子育て世帯に優しいと思います。

## **(9) 子どもの預け場所の提供**

- ・活動の内容によっては子どもを預けられる場所があればよいと思う。小さな子どものいる家庭はなかなか活動に参加できないと思う。登校前の朝の時間帯など自治会のゴミ当番などがあると正直厳しい。
- ・子どもの事を気にせずに論議に短時間で集中し、活動に参加出来るよう、子守・子ども達が遊ぶ部屋(場所)を用意してもらおう。子ども達と一緒に参加する為に、議題を大人が決める。子ども達と一緒に参加すると半分以上子どもの面倒で時間がさかれるので難しいです。
- ・託児所が必要な町民活動の時は無条件で託児所を付けて頂けると参加しやすい。
- ・子どもを安心して遊びに行かせる場所の充実。共働き夫婦が安心できる留守番時間の過ごし方、など。
- ・安心して活動に参加できるように、子どもを預かってくれる所が必要です。保育園も学童も待機問題を解決してもらえると助かります。また、病児保育も整備してもらえると安心できると思います。
- ・保護者が参加している間子ども達が安全に過ごせる場所の提供。

## (10) 町民の意見を聞くこと

- ・各家庭目線の多くの意見を聞き、改善しようとする姿勢が見られる事。
- ・駅前整備よりも街灯を増やしたり、もっと町民の声を生かした事をするべき。
- ・もっと町民の声を聞いてほしい。以前街灯を付けて欲しいと意見しました。自治会長は聞いてもくれませんでした。夜、部活帰りに危ない道がたくさんあります。女子はとても怖い思いをして帰って来ます。通学路では狭い道を猛スピードで横切る車に何度もひかれそうになったか…。もっと町を見てください。駅前だけを見るのではなく、たくさん危ない場所があります。町長が見て感じてほしいと思っています。
- ・子育て世代の意見を聞く機会、話し合いの場等を設ける。若い世代の意見というのは今後の寒川町のまちづくりを良いものにしていくのに大変重要なことだと思う。議員をやっている世代の人は今の時代の流れをあまり知らないと思う。話し合いを設ける機会を作るべきだと思う。
- ・町民がもっと簡易に意見や要望を述べる機会があること。地域について公園の少なさや歩道の狭さなどの不満がある。小さな子どもを持つ母親は沢山いるが、発言の場や意見を述べる所がないので皆さん我慢している。まちづくりや町民活動に力をいれたいのならば、まずはもっと沢山の子育て世代の意見を聞かなければどんどん他の市町村へ流れてしまうと思う。この町に住み続けたいという気持ちがなければ積極的に町民活動に参加する若い世代は出てこないと思います。もっと子育て世代に耳を傾けて下さい。
- ・意見を出して最も必要な事は何かを話し合うことが大切。その為には色々な方からの意見が必要であると思います。アンケートをとるとその時は「こうなったらいいのに」と思うけど、いざという時書けないので、ホームページに意見フォームを大きく載せると良いと思う。
- ・意見交換の場を作る。
- ・花火大会の時、いつでも立ち寄れる場所に募金箱があり、参加できたような気持ちになっていた。同じように町に対して意見を述べる事が出来るポストがあると良い。
- ・個々には意見や考え方を持っているが、町と繋がる機会がない。参画するようなものは募集型で条件もあり理由等の記述 400 文字など手を出しづらい。町から参加をお願いする形の参画事業的なものがあるといい。広く意見を入れないと変革しない。町の参画的なものはある程度決まった人がやり、あまり意味がないのではないか。

## (11) 地域との繋がり

- ・挨拶、声かけ、コミュニケーションではないでしょうか。
- ・コミュニケーション
- ・地域の繋がりがあると一番いいと思います。
- ・一人だと参加しづらいので仲間に声を掛け合うことで参加しやすくなるのかなと思いました。その為にもコミュニケーションの場等がふえると良いと思います。
- ・近隣、自治会等でコミュニケーションを日頃からとる事。普段からの関わり、挨拶や声かけ等がいざという時に役立つのではと考えています。
- ・一部の方が参加するスタイルではなく、皆平等に参加するようにするのはどうでしょう。近隣の方とのお付き合いとか繋がりを意識していかないといけないと思います。
- ・町の行事はもちろん、自治会や子ども会があれば、それに参加する事が大きいと思います。昔は、人との繋がりがあったように思うのですが、今は人との繋がりがなく、人は人、自分は自分みたいな感じに思えます。なんだか淋しい時代です。まちづくりもそうですが「人づくり」も考えてみるべきではないですか？人と人がつながればおのずとまちづくりにもなると思う

のですが…。

- ・地域の輪、助け合いの気持ち。
- ・町内会など積極的に参加し、近所の人と交流する。PTA も人任せにせず、必ず一人一回は役員活動を行うようにする。皆、仕事で忙しいと思いますが、それを言い訳にしてやらないのはよくないと思います。
- ・地域の方とのコミュニケーションや交流の場は必要だと思います。
- ・子どもを育てる為には、自分の子だけでなく、他の子も地域の大人全体で見守っていこうという意識を持つこと。大人同士もお互いの違いを認め合い、気軽に付き合える、和やかな集まりの中で活動を進めていくこと。
- ・防犯・防災等も地域の繋がりを大切にしたい。
- ・日頃から地域住民と親しくする事で町の活動についても話題になりますし、声を掛け合ってまちづくりや町民活動に参加する機会もできると思います。
- ・周りの人達とのコミュニケーションが取れているかどうかではないかと思います。一人ではなかなか参加しづらい為。
- ・日頃のご近所さんとのコミュニケーション。
- ・ご近所の方々とのコミュニケーションが大切だと思います。私の場合平日昼間は働いて、土日は外出してしまうので、なかなかご近所の方々とお話をする機会がありません。名前も知らないような状態です。町民活動に興味があっても、参加の仕方も分からず、情報が入ってきません。近所の方々とのコミュニケーションをとれたら、輪も広がるし、様々な町の行事も参加する事が楽しくなるのにな…と思います。
- ・地域社会とのコミュニケーション。近所付き合いも大切だと思います。
- ・人と人の関わり、繋がりを大切にし、助け合い励まし合い、一人ではない、仲間が居ることを念頭に置きながら、円滑に絆を深めていくことにより町民活動に参加すると良い方向に向かうのではと思われまます。
- ・助け合いの精神で親世代が繋がりを持つようにすれば子ども世代も安心して生活できると思う。
- ・地域住民がお互いに助け合い、安心して生活ができること。
- ・まちかど防災訓練などに参加し、地域の方々顔と顔を合わせ、助け合うこと学ぶ。
- ・楽しみながら、顔見知りを増やし、それぞれの立場の意見交換が出来れば、思いやり溢れるまちづくりへの第一歩になると思います。
- ・今の保護者は忙しく様々な事情を抱えている。しかし寒川には適度に近所に高齢者もいて、子ども達と喜んで関わってくれる人達も居る。それを上手く結びつけて地域全体で子育てを行っていく様な町ならば自然と参加すると思う。さまざまなライフスタイルの子ども達が地域活動に参加し、そうした地域の大人たちとの関わりを通して、生き生きと生活するためには、学校と地域との結びつきで、やってもらえたら親も子どもも、出来れば子どもだけでも参加しやすいと思う。ちらしを配って案内しているだけでは、簡単にゴミ箱に入れられてしまうと思う。

## (12) 寒川の魅力づくり

- ・若い世代が結婚し子どもを持ち、家を持つ時に、寒川ってなんかゆとりがあって子育てもしやすく、オフタイムをホッと過ごせるような魅力があれば、多少職場が離れていても住んでくれる人が増えるのではないのでしょうか？
- ・町民が責任とプライドを持って寒川の事を考えるには、自慢の寒川でないとなりません。私は幼い頃から町民ですので、寒川が住みやすく落ち着きますが、逆に転入者はどうでしょうか。よ

り、町外、県外から寒川に住みたいという町になれば、住民は自然とプライドを持ち、責任も持つ様になると感じます。

- ・他の市町村から来た町民も多くなってきているので、大人にとっても子どもにとっても魅力ある町づくりをしてもらいたい。具体的に「～な町」などのスローガンを設けて町民一人一人が意識的に取り組めるものを作り、発信していくことで関心が高まると思う。抽象的では駄目。
- ・関心を持つ事。その為には魅力のある町になるよう努力して欲しい。
- ・寒川駅から神社までの間にお年寄りや子どもが歩いて楽しめる町づくりをすることで、寒川がもっと活気づき、せっかくお金をかけて造った駅前も潤うと思います。
- ・安全な町、明るい町、常に変化が見られる町づくり。良いものは大切にし、しかし新しいものを取り入れたりチャレンジする姿勢が町民活動にあると良いと思う。ある程度の良い結果が想定できるものよりも、どうなるかわからないけれどやってみたらきっと、もっと良くなる様な企画や長期スパンの政策が必要にも思える。旭小周辺は住宅も増え、子どもも増えています。若い人が増えている事はすごく良い事だと思います。もっともっと魅力ある町になってほしいです。
- ・子どもを育む感じが町から感じる事ができない。地域を大切にしていける事も大切だと思いますがそこで馴れ合って安心してしまっただけでなく他地域と寒川を比較した上で定住していきたいと子ども達が思えるような町であってほしいと思う。

### (13) 若い世代の活用等

- ・未来のまちづくりの為には、若い世代が増えていく事が必要。神奈川県全般に待機児童が多く、寒川町では保育所が増えたようですが、それでも待機者がいるという事は子を持つ働きたい女性が多くいるのかなと思います。保育所を求め近隣の市への転居をすることもあっていいのではないのでしょうか。就労人口の増加は町の財政にも繋がるかと思えます。
- ・若い人の力をもっと活用した方が良いと思います。寒川町は若い人より年配の方寄りの活動が多いと思う。
- ・若い世代が寒川をよい町で好きだと思える事。交通が不便な点や買物をする店が無いなど、改善して欲しい店がたくさんある。
- ・指導する方達の年齢が高過ぎる。もう少し若い人が動いた方が子どもたちもその親も動くと思う。あまり参加した事が無いので、中身を分からず勝手な事を言ってすみません。何をするにも寒川町は高齢者が多い、若い人達が動き参加し見方をもっと変えていく事を考えて欲しい。
- ・若い人達が自治体や町内会の活動に参加しやすいよう、考えていかなければならないと思います。
- ・保護者の世代は時間に余裕が無い人や平日は町にいないので、不便さや子どもの過ごし方が分かっていない人が大半です。この世代をどう巻き込むかが課題だと思います。
- ・本当に町の将来の為に活動してくれる人材が必要。子ども向けの無料～安価なワークショップ、安全に遊べる場所、町営プールの再開（町民は料金で優遇）お金が必要であるならば、寒川神社周辺の町営の駐車場の整備、総合体育館駐車場の有料化（町民は自転車でも行けます）若い家族を町内に呼び込むことで、将来的に町は豊かになるのでは。その為に必要な投資を惜しまないで頂きたい。

### (14) 行政の対応

- ・まちづくりへの参画や協働にあまり興味・関心がないのは、以前、役場に環境・公害のことなどを電話で相談したが、対応に時間がかかったり、そのままの事などあるので、疑念がある。

- ・寒川町は特に役場がお役所仕事をする方が多いので、民間サービス業のような体制を作って欲しい。上から目線ではなく下から目線。壁があるので参加しづらいです。
- ・窓口で伝えたこと、要望も要望として取り上げない町に何を期待しますか。まずは自治会自体が期待できるものになるよう町や社協に無駄な仕事の丸投げ（チラシ配布、赤い羽根募金）をやめたらどうですかね。
- ・地域によっては強制的に参加しなければならない地域活動もあり、本当にやりたい事ができない町という印象。今の時代強制なんてありえないし、選ぶ権利、断る権利もあると思います。地域の事は地域でという町の考えが変わらない以上、町が変わる事はないのではもっと、町が地域に入って来ても良いのではないのでしょうか??本当に本気で町を変えたいのであれば。

## (15) 情報の発信

- ・行政が目標を分かり易くはっきりとさせること。1本化。協働という言葉も漠然としていて何だかよく分からない。
- ・働いていると土日が出やすい事があります。なので「すきっぷ」のイベントはとても助かっています。ホームページ上でも「すきっぷ」を取り扱って頂けると、出先からでも連絡が取りやすいように思います。
- ・町長への手紙などは名前や住所は記入せず全ての返答を情報公開したらどうでしょうか。より多くの意見が集まると思います。
- ・まちづくりは大切だと思うが現在心に余裕がありません。もし出来るとしたらネット配信かな?このアンケートがまちづくりのきっかけになるのかな?すごくアンケートは良かったと思う。
- ・子育て中の人が集まる授業参観・懇談会を利用して町民センターなどで行われている講演会や求めている公募委員についてチラシの配布と軽く説明を行うと効果的だと思います。則効果を感じられなくても数年後に、効果が現れてくると思います。PTAの役員から、周りに拡散とか。
- ・パブリックコメントについて広報などで知っていたが実際には自分からやろうとは思わなかった。こういったアンケートを色々な人達が集まる集会やPTAに配る事は住民も考えるきっかけとなり、良い事だと思う。
- ・まず、町が町民に具体的にPRして欲しいと思います。イベントみたいな形なら、子ども達も参加しやすいと思います。
- ・どこでどんな事をしているのか?というようなPR
- ・気軽に参加できそうな言葉、タイミング、ある程度の強制。子どもの為になるとか。有意義な情報・利点。
- ・まずは広報や町のホームページとかでは無く、より身近なPR活動が必要と感じます。「町づくり」や「町民活動」と聞くと少し固いイメージがあるので、もっと気楽で気軽な活動から理解した方が良いと感じます。
- ・夏に町民センターでご近所さん誘われ女の方の講演を聞く機会がありました。とてもいい話しが聞けて、行くつもりが無かったのに行く事ができて良かったと思いましたが、周りを見てみるとお年寄りばかりで話の内容がコミュニケーションとかで子どもとの関わり方、夫との関係だったのにそのぐらいの人があまり居なかったのもったいないと思ったのもっともっと宣伝すればいいのに…学校で子ども達に広告を配るとか…先日も公民館まつりに参加しましたが、おじいちゃん、おばあちゃんばかりで若い人が居ません。もっと宣伝を、ヤングダンスも宣伝を!知らない人が多く居ますよ。
- ・何よりも関心を持つ事だと思います。既存の活動についても知ろうとしなければ知らないまま

で日々の生活は出来てしまいます。広報的な PR 拡大など、知るための活動が大事ではないかと思えます。

- ・現在一之宮西自治会の子ども会でさむかわ wakuwaku 体操を踊っています。保育園では多少踊るようですが、小学生は学校で全く踊らないようで毎回最初から教える事になっています。せっかく寒川に素敵な体操があるのだからもっと広めて行ってほしいです。今あるものを活かしつつ新しいものも取り入れて行ってほしいです。
- ・身近な議題、案件を PR すれば興味が沸くかも。
- ・自治基本条例の内容をよく理解していなかったのも、子どもをもつ保護者がまちづくりの情報を共有し、一人でも多くの方がまちづくりの活動に参加できるような仕組みを作っていく事だと思えます。
- ・広報に情報が載っていますが文字ばかりが多く、じっくり読まないで見逃してしまう事があります。隣の海老名市は月 2 回の広報の発行がされています。そういった様に町の情報が分かり易く目に入る、聞く等の機会が増え、町民が参加するイベントがもっとあるといいなと思えます。
- ・ポスター等、子どもにも分かり易いと思うので、公民館まつりのポスターのような手書きのポスターはこれからも続けて欲しいです。
- ・もっと知らせを出す。
- ・イベント情報の伝達で分かり易く簡潔にして欲しい。
- ・情報収集
- ・どんな活動をしているかわからないので、詳しく活動内容がわかるといいと思えます。
- ・情報の周知
- ・情報提供。活動を知ることによって参加する機会を知ることが出来る。
- ・広く情報提供をしていただくこと。
- ・具体的にどんな事から参加していけるのか、情報がわかり易く町民に伝わる事が必要だと思えます。広報誌、ポスター、ホームページ、イベント内でのアピール等の他、学校と町がもっと密に一体化したイベントやボランティアなどが保護者の“まち”に対する思いが深くなるのではと思えます。
- ・まず町民活動に何が有るのか、どう活動しているのか知らない方が沢山いると思えます。参加する為にどう手続きしたら良いのか等、基本的な事を知ってもらい、広める事が大事だと思う。このアンケートの様に質問だけでなく、ポイントで教えてくれるのは分かり易くとっても良い。
- ・活動内容が分からないと参加しにくいので、活動内容の周知徹底。
- ・もっとわかり易く、チラシなら見やすく、関心が沸くような町民活動などのお知らせをする。
- ・情報。小学校に入学した時あまりにも知らない事が多過ぎた。他の保護者の方はママ友付き合いや経験で知っていた。自力で築いた人間関係ありきの「常識」を持たなくてはならないことに疑問を持ちました。閉鎖的ですね。学校に限らず情報を得られる公的なものが分かり易くある事を望みます。ネット掲示板とかでも良いじゃないですか？ツイッターの発信はよく拝見しています。
- ・参加したいと思える内容をもっと町民に対し必要性を訴える。
- ・広報などで活動をもっと紹介してもらえたら良いと思えます。
- ・情報が誰にでもちゃんと伝わるようにする事だと思えます。
- ・どんな事をやっているのか分かり易く知らせる事。
- ・もっと多くの情報を発信し、住民が「町」を理解すると地元愛も生まれ様々な意見も出てくるのではないかと思えます。
- ・それぞれの分野における知識や情報などをなんらかの方法で皆さんに情報を提供してもらおう事

ではないかと思いました。

- ・もっと、ポスターや広報、放送などで宣伝した方がいいと思う。
- ・例えば自治会などに入っていなくても町民活動等に参加できるよう、チラシ等のポスティングでお知らせしていただけたら助かります。(情報が欲しいです。) 現在、自治会に入っていないので、回覧板も回ってこないのです。
- ・自治基本条例の事を知りません。具体的に何をどのように活動しているのかホームページ以外で知る事は出来ないのか?ホームページを見るのは自治基本条例があるという事を知った上での次のステップだと思います。
- ・一部分の町民参加ではなく全体的な情報提示
- ・未来を担うであろう子ども達と実際に生活をしている私達保護者がまちづくりに参加するには、広く参加できる場があるということを知告する事。
- ・今でも広報等でサークル、ボランティア、スポーツ団体の募集などの記事は見た事ありますが、1つのサークルやボランティアなどを詳しく紹介するコーナーがあるといい。どんな事をしているとか、〇才の方が中心で〇人で活動しているなど。写真や情報を載せて気軽に参加したいと思えるのがいい。でも、サークルなどはやはり口コミで広がる気がしますし、子ども会も子どもは楽しくても、役員になるのが重荷で親が辞めてしまったり気軽にできない部分もある。
- ・PRが足りないのでは?知らなきゃ参加しようもないです。

## (16) 施設

- ・ちょっとした公園を増やして欲しい。
- ・唯一室内の遊び場があったら良いのにと何度も思った事があります。
- ・子育て支援センターのある場所がとても不便ではないかと思えます。もっと駅の近くや役場、中央公園など誰でも足を運べるような所にあるべきだと思います。初めての出産の方は、色々な苦勞を抱えている人、悩んでいる人も居ると思います。町で産んで育ててもらうには、地域と関わり合える場所が充実している場所にあるべきではないでしょうか。支援センターの場所も地域に1ヶ所ずつ必要だとも思えます。知っている人が(支援センターの方、そこでできた友人等)そばに居るだけで、子育てのやる気も違うと思います。
- ・雨の日でも子どもたちが遊んだり学習したり学んだりする場所が欲しい。
- ・未就園児や幼児が雨の日でも安全に遊べ、母親同士くつろいで話が出来る屋内の遊び場があるなど、子育て世代に優しい町づくりをして欲しい。
- ・様々な活動を行う場所が寒川町には少なく他の市町村に比べ公園なども少ない。高齢の方々向けではなく子どもに対して集い・活動出来る場所をもっと作って欲しい。
- ・寒川には児童館やコミュニティセンターが殆ど無い。公民館も無くなったし、大人も子どもも自由に集える場作りをして欲しい。特に中高生向けのものを。
- ・子どもの遊べるような場所が他地域と比べて少ないと感じる事。

## (17) 安全

- ・歩道も段差が多く高齢者や子どもに優しい環境ではない!転倒の危険だらけ。公園なのに自転車が猛スピードで走り、接触も多い気がします。
- ・町に愛着を持ち子どもたちが長い間住みたいと思える安心安全な町にする事。
- ・色々必要な事(金銭面、人材でも運営上厳しい等)はあるかと思えますが、とにかく「安全」を最低限優先してほしいです。住宅地の道路を時速40~50kmの幹線道路並に車が走行してい

ます。信号の無い場所では歩道のある道へ出る為に結構怖い思いをします。

- ・まず、通学路が危なすぎるので、もっとシルバーの力を使って子どもたちを守って欲しいです。シルバーの方達も子どもの為ならきっと喜んで働いてくれると思います。平塚では沢山のシルバーが見守ってくれています。寒川はなぜ取組まないのか不思議です。自治会も働く父母に子どもを家に残し役割を果たせというのは無理です。仕事をしていない元気なシルバーの人が中心になってくれなければ子どもの居る家では自治会を続けて行く事が出来ません。小さい子を抱えて、ゴミ当番などできません。隣家も自治会を辞めました。仕事と子育てをしながらの朝晩の町の仕事は無理です。

## (18) 教育環境の整備等

- ・教育だと思います。また教育をもっとグローバル化するなど。
- ・学力の低さを感じています。
- ・要望があります。色々な学年の親と話をしていて、皆さんがぜひ町に行ってもらいたい事として、中学校での給食提供ということが多く聞かれます。実現できるようにお願いしたいと思います。このことは仕事への従事や住みやすさにもなります。他県では導入しているのに神奈川はワーストの方です。
- ・町にお願いしたい事①教育環境・エアコンと空気清浄機の整備 ②学力に向けた取り組み ③中学校の給食 以上を早急に改善して頂きたい。
- ・小中高とあまりにもレベルが低いのでどうにかして欲しい。子ども達はもっと教育レベルの高いところに住ませたい。教師が全くやる気がない。小学校の時、先生から教育のための予算要求もしているが、町の財政状況が厳しく、なかなか難しいと言われました。
- ・小・中学校の環境整備、カリキュラムや指導法の改善など、学力アップに繋がるように教育熱心な町づくりをして欲しい。
- ・町に特に力を入れてほしいことは教育内容・指導の向上。
- ・現在町立中学校に通っている保護者として、まちづくり、地域繁栄のための参画と大きな目標を掲げていますが、まず中学校の現状をなんとかして頂きたいと思います。冬の寒い時期でも1限目しか暖房を入れてもらえない。水道水の蛇口から赤錆が混じったような茶色い水が出てきて異常に臭うトイレがある等、子どもから聞きます。このような小さな問題を放置したまま、未来の理想を語っても説得力が全く感じられません。
- ・子どもの教育などにお金がかかり、若い親たちは共働きが多いです。時間が無いです。東中学校のトイレが臭いです。小学校のトイレは綺麗になりましたが、中学校はどうなのでしょう？
- ・年寄りばかり大事にするのはおかしいと思います。子どもにかかるお金を削るのはもう本当にやめてほしいです。お年寄りの分を子どもに回してほしいです。大切にすべきは、これから寒川を支えていく子どもではないのでしょうか。なぜ寒川は子どもの学力が低いのか。それは、子どものために税金を使っていないからだだと思います。敬老のプレゼントより、運動会のご褒美です。必要なのは子どものためのプール、遊び所です。寒川で子育てしているのが残念です。

## (19) 意識改革

- ・関心を持つこと。
- ・それぞれがまちづくりに興味を持ち意識する事が必要だと思う。正直日々の生活に追われ、まちづくりや町民活動について考えたりした事がほぼ無かった。
- ・一人一人の意識が必要だと思います。

- ・職場での町民活動に参加することへの理解。
- ・意識改革。誰かがやるのではなく「私達がやらなきゃ」に変えないといけないと思う。
- ・他人事ではなく、自分や家族にとって有益な事と認識すること。
- ・日々の生活に追われていて町の活動に目が行っていなかった。情報は簡単に手に入る時代なので、もっと町の活動、行事等に関心を持っていかなければいけないと思う。
- ・どうにかしたいと思う気持ちを持つ事。
- ・意識改革
- ・町の事をもっと知る事だと思います。
- ・今まで考えた事がなかったので、これから意識しながら生活していきたいと思います。
- ・学校のPTAも自治会も子ども会もボランティアでやってくれている事を再認識してもらい、やってくれている方々を当たり前だと思わないようにして欲しい。ボランティアはやりたい人がやる事だと思います。無理矢理やるのはどうかと思います。
- ・無関心をやめる気持ちを持って、情報に耳を傾ける。
- ・自分の町の事を良く知り、好きになり、誇りを持ち、もっと良くなるようにしたいと思う気持ちだと思います。
- ・政治に興味を持つ事だと思います。

## (20) 身体・精神面

- ・健康な体。病気がちだと家の中のことを回すだけで一杯一杯で体的にも気持的にも他のことを行う余裕が無くなるから。
- ・地元を(人を含めて)愛すること。
- ・自分の生活や心にゆとりがあることだと思います。ゆとりが無いと町づくりなどを考えたり、関わっていきこうと思えない人が多いと思います。
- ・子育て世代はとにかく目の前のことで精一杯な、共働きがほとんど。子どもの教育にもお金がかかるし、夫のお給料も上がらない。まちをどうしたい、それにどう関わるか。など考えている時間が無いと思います。時間と心のゆとりを持つ事が出来ることが必要だと思います。
- ・ゆとりのある生活。
- ・経済的なゆとり。
- ・心と体、時間に余裕があること。
- ・生活と仕事の時間のバランス、物理的・精神的な余裕が必要かと思う。
- ・時間や心のゆとり。
- ・思いやりを持てる事。

## (21) その他

- ・引っ越してきた時あまりにも閉鎖的な地域の住民の対応に悩みましたが、数年間無視していましたが、あまり関わりたくありません。
- ・今はたまたま寒川町に住んでいるだけで、愛着も関心もありません。「寒川町まちづくり」としては、何をされているのでしょうか？
- ・自分自身毎日忙しく特別考える事が無いため、特別に何か希望もなく不満も無いので。
- ・きっかけ
- ・学校から配布されると、必ず目を通すと思うので、学年に1クラスだけでなく全校全員、幼稚園、保育園、子育てしている人にアンケートをとった方が良いと思います。または希望制でも良い

かもしれません。

- ・アパートやマンションに住む、最近寒川に引越してきた人達に、昔から住んでる方達はとても冷たく仲間外れにされているように感じる。自治会など参加しても仲間に入れてもらえるとは思えません。以前住んでいた場所より、あいさつも少なく人との繋がりが薄い町だと思っています。
- ・私は寒川町が大好きです。子育てもほほしやういと感じています。
- ・お祭りやイベントなど寒川ならではのものも多いので誇りに思います。
- ・会議に参加するなど難しいですが、このようなアンケートで意見を聞いてもらえるのと有り難いです。
- ・お知らせだけだと何事もなく通りすぎてしまうので、このようなアンケートがあると良いと思います。
- ・仕事を辞めれば参加できる。ただし正しいこととは思えない。家計が厳しくなり経済によくない。旅行などの楽しみがなくなる。子どもを大学に行かせる費用がなくなる。自分たちの老後の資金がなくなる。
- ・寒川町に住んで2年位になりますが小学校は1クラス少人数で授業を受けられ地域柄柄も多く、作物を育てる授業なども多く環境も良い所だと思っています。
- ・物価が高く、子育てするには塾や習い事は当たり前になってきています。それにはお金が必要だし、共働きでないと生きて行けません。残念ながら、まちづくりを考える余裕はありません。寒川町民限定でもいいので物価が安く新鮮な物を売っている店を作って下さい。
- ・よくわかりません。地元じゃないからというのもあると思います。
- ・仕事をされている方はなかなか活動への参加が出来ないと思うので、していない方が参加してしまうと、「ずっと参加しなくてはいけない」と思ってしまう方も居ると思います。反対に参加出来ない方は「あの人がやってくれるから」と人任せになってしまうと思う。
- ・町→自治会→住民 転入した際町からの情報も少なく自治会まかせで不安になりました。町が自治会、他に寒川町に住んでから感じた保育園や学童といった子育てに関する現場の把握をされていないという点にも驚きました。約10年住んでいますが正直、理由がなければ住みたい町とはいえないと思います。他市町村に比べても「寒川町」というと立地、制度等の観点からもあまり良いイメージはないと聞きます。(特色がない、不便、学力が低い、店が少ない等も)
- ・議員が本来の活動をすれば良い。まちづくりの参画や協働は全員が出来るわけではない。それぞれの事情がある。自分の思いを反映してもらう為に議員がいるのではないかな。
- ・若い世帯には、暇がないので難しいと思う。共働き、子育てでいっぱい입니다。
- ・引っ越して来て思った事はとにかくマナーが悪い!大人が平気でゴミを投げ捨てる、信号無視など。あえて参加したいと思える様な魅力を感じない。
- ・子育てが忙しくてあまり関心が持てない。子育て中の人より、退職後の年配人向けに色々活動があるだけかと思っていた。
- ・色々な会やサークルはあるだろうけど、子どもは通常平日は学校で、親は共働きなのに土日は役所が休みだと何も参加出来ません。かと言って、土日は親としてもやっとなら子どもと一緒に遊べる大切な休みなのに、町内に毎週親子で遊べるスポットも無く、買物においてもよその町にわざわざ出掛けていては、子ども達だって町に愛着心など生まれません。だからこそ、町内会の個人経営者に、土日の親子の過ごし方の協力をしてもらいたいです。
- ・自治会活動と神社活動が一緒になっているような、自治会、意味の無い回覧、期待していません。

- 家庭や学校等でまちづくりや町民活動を話す機会があるといいと思います。
- 子どもと老人が住みやすくする事。きれいな町であり続ける事。
- 映画「みんなの学校」をみて大変感動しました。一見「障害」と言われる子や「問題を抱えた子」の為の学校の取り組みのようですが、皆が同じ教室にいる事で、周囲の「普通の子」に気づきが生まれ、学びとなり育っていく。「自分の考えを持つ」「チャレンジする力」など学校として子ども自身の主体性を大事にした取り組み等、木村泰子先生に学ぶ所は大きいと感じます。「目に見えない力」を大切にすることで、「目に見える力」もついて来たという事もそうですが、地域の人達（大人も子どもも）でつくる学校に皆が愛着を持てる事から地域の事にも関心を持ったり、自分の住む町を愛しまちづくりに参加する気持ちになれたら…と思います。

平成28年2月24日

保護者各位

寒川町まちづくり推進会議会長 大川 壽一  
寒川町長 木村 俊雄

アンケートへのご協力をお願い



～夢・希望あふれる「寒川町」まちづくりを目指して～  
**寒川町まちづくりに関するアンケート調査  
ご協力をお願いします！**



寒川町では、平成19年4月1日より寒川町自治基本条例を施行し、自治の基本理念を「町民と町が協働するまちづくり」として、町民と町がそれぞれの責任を果たしながら相互に補完し、協力しあって進めてまいりました。

寒川町自治基本条例に基づき設置された町の附属機関である「寒川町まちづくり推進会議」では、これまで自治基本条例の推進や町政への参画についての調査・協議のほか、高齢者パワーの活用や女性の参画に関する検討なども進めてきたところですが、今期の寒川町まちづくり推進会議においては、まちづくりへの参画や地域活動の活性化を進めるためには、今後のまちづくりの担い手の中心であり、お子様を通じて地域と関わる機会が多い子育て中の皆様のご意見を活かした取り組みが必要であると考えております。

つきましては、今後の取り組みの参考とさせていただくために、本アンケートを実施させていただきます。

お忙しいところ恐縮ですが、皆様のご協力をお願いします。

■このアンケートに関する問い合わせ先  
寒川町役場町民部協働文化推進課協働担当  
電話 74-1111（内線 222）



問3 町では計画策定時や条例制定時などに、町民の皆さんが参画（※2）する機会として、町民の皆さんの意見をより広く募集し、意見反映の機会を設けるために、パブリックコメント（町民意見の公募）を行っています。知っていますか。（1つだけ〇）

1. よく知っている	2. ある程度知っている
3. 名称は知っている	4. 知らない



※2 参画とは、「町が実施する施策又は事業の計画決定、実施、評価等の各段階で町民が意見を述べ、その反映を図ること」だぼ～！



問4 町では審議会等（町に関することの検討などを行う様々な会議）へ町民の皆さんに参画していただくため、公募委員を募集していますが、このような制度を知っていますか。（1つだけ〇）

1. よく知っている	2. ある程度知っている
3. 名称は知っている	4. 知らない



問5 自治基本条例では「協働」（※3）について定義していますが、「協働」という言葉を知っていますか。（1つだけ〇）

1. よく知っている	2. ある程度知っている
3. 名称は知っている	4. 知らない



※3 協働とは、「町民と町が補完し合い、まちづくりにおいて対等の立場で協力すること」だぼ～！



問6 子育て中の皆様にとって必要な情報は町から得られていますか。（1つだけ〇）

1. 十分得られている	2. ある程度得られている
3. あまり得られていない	4. 得られていない



問7 前問で1および2と答えた方にお聞きします。必要な情報は次のうち、どの方法で得られていますか。（複数回答可）

1. 広報さむかわ	2. 町ホームページ	3. 自治会の回覧
4. メール配信サービス	5. ツイッター	6. 友人、知人などから
7. その他（具体的に）		



あと6問！



問8 まちづくりへの参画や協働に興味・関心がありますか。(1つだけ○)

1. 興味・関心がある
2. 少し興味・関心がある
3. あまり興味・関心がない
4. 分からない
5. 興味・関心がない (その理由をお聞かせ下さい)
.....
.....
.....
.....



問9 自治基本条例や協働について理解を深めていただくために、平成27年8月に「協働PRチラシ」(※4)を全戸配布しましたが、知っていますか。(1つだけ○)

1. チラシを見て、理解がとても深まった	2. チラシを見て、ある程度理解した
3. チラシを見たが、よくわからなかった	4. 知らない

※4 協働PRチラシ



自治基本条例では、町民と町が適切な役割分担のもとに協力しあい、魅力的で住みよい町とするため、次のまちづくりの指針が定められています。

【まちづくりの指針(自治基本条例第5条より)】

1. 子どもたちが地域社会にかかわりながら健やかに成長できるまちづくり
2. 子育て環境の整ったまちづくり
3. 歴史と文化が息づく教育が充実したまちづくり
4. 豊かな自然と快適な生活環境が整った環境共生のまちづくり
5. 地域社会に根ざしたにぎわいと多様性のあるまちづくり
6. 保健と福祉の充実したまちづくり
7. 産業が発展し活力のあるまちづくり
8. 誰もが安全で安心して暮らせるまちづくり



町民活動（※4）についてお聞きします。

※4 ここでの町民活動とは、「町民一人ひとりの自発的な意思により行われる、地域社会を住みよくする活動など（ボランティア活動など）の社会的活動」のことだほ～！



問10 次の団体のうち、これまで活動に参加されたことがある団体等をAの回答欄に、今後活動に参加してみたい団体等をBの回答欄に数字をお書きください。（複数回答可）

1. 自治会（町内会）	2. 子ども会	3. PTA
4. NPOやボランティア団体	5. 個人ボランティア	6. 会社、職場等での奉仕活動
7. 女性団体	8. 自主防犯組織	9. 自主防災組織
10. 消防団	11. 文化団体	12. スポーツ団体
13. サークル	14. その他（ ）	

A：活動に参加されたことがある団体等

その他（ ）

B：今後活動に参加してみたい団体等

その他（ ）



寒川の将来などについて、保護者の立場からのお考えをお聞きします。

問11 自分の子や孫が寒川町に住むとしたら、町に特に力を入れて欲しいのはどのような地域づくりに向けての取り組みですか。（1つだけ〇）

1. 住宅地や働く場所に若者や新しい居住者の定着が進む地域
2. 住んでいる人が生き生きとしている明るい地域
3. 神社や花を活かした観光名所を整備し、多くの来町者が訪れる地域
4. 地域住民が顔見知りの関係となり、お互い助け合える地域
5. 子どもや女性、高齢者等が安心して暮らせる地域
6. バス、電車等、交通機関の利便性が高い地域
7. 教育環境の充実した地域
8. その他（具体的に）
.....
.....
.....
.....



問12 子どもがまちづくりへ参加するためには、何が重要だと思いますか。(複数回答可)

1. まちに愛着と誇りを持てるような、地域活動に参加する機会
2. 子どもたちがまちづくりについて学ぶ機会
3. 行政や議会などを身近に感じるような機会
4. 大人がまちづくりに参加している姿を見せること
5. 家庭でまちづくりについて話題にすること
6. 子どもの社会参画を促すような、学校と地域社会との融合があること
7. 子どもの目線から政策形成に参画する機会 (子どもによるまちづくり企画会議)
8. 自分の住む地域のまちづくりを考えるために、他のまちと比較を行う場
9. 自分たちの理想のまちづくりを考える模擬体験の場 (地域の課題を発見)
10. 子どもがまちづくりに参加する必要はない
11. その他 (具体的に)
.....
.....
.....
.....



問13 保護者である皆さんが、まちづくりや町民活動に参加するために、最も必要なことは何だと思いますか。ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



～最後までアンケートにご協力いただきありがとうございました～



今回のアンケート結果は町情報公開コーナーやホームページなどで6月頃に報告するよ！  
自治基本条例について詳しくは、同じく町ホームページをみてね！